

令和5年度沖縄振興特別推進交付金事業（県分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	135	おきなわユニバーサルツーリズム推進事業	新沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所 (第4章)	3-(2)-ア-③				
				多様な受入環境の整備				
担当部課名	文化観光スポーツ部 観光振興課	事業実施 (予定)年度	H30~R13 年度	沖縄振興基本方針 該当箇所	Ⅲ-1-(1)			
事業内容	ユニバーサルツーリズムを推進するため、セミナー開催やアドバイザー派遣により受入体制を強化し、旅行博等への出展やポータルサイト等を活用したプロモーションを実施する。							
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()							
予算額・執行額 【単位:千円】		R3年度	R3年度(繰越)	R4年度	R4年度(繰越)	R5年度		
	予算 の 状 況	(a) 当初予算額	22,469		18,770		21,891	
		(b) 予算現額	22,469		18,770		21,891	
		(c) 増減額(b-a)	0	0	0	0	0	
		(d) 前年度繰越額						
		A. 計(b+d)	22,469	0	18,770	0	21,891	
	B. 執行済額		22,022		17,693		21,150	
	うち交付金充当額		17,617		14,154		16,920	
	C. 次年度繰越額				0	0	0	
	執行率(%) (B/A)		98.0%		94.3%		96.6%	
予算の状況の説明		・執行率は96.6%であり、不用の主な理由は、委託料の執行残によるものである。						
活動目標 (指標) 及び進捗状況	R5活動目標(指標)		進捗状況					
			R2年度	R3年度	R4年度	R5年度		
	業種別のセミナー実施や観光バリアフリーアドバイザーの派遣	目標	・セミナー実施 ・アドバイザー派遣	・セミナー実施 ・アドバイザー派遣	・セミナー実施 ・アドバイザー派遣	・セミナー実施 ・アドバイザー派遣		
		実績	・セミナーを実施した ・アドバイザーを派遣した	・セミナーを実施した ・アドバイザーを派遣した	セミナー及びアドバイザー派遣(8回)	セミナー及びアドバイザー派遣(7回)		
	バリアフリー展示会への出展	目標	・展示会への出展	・展示会への出展	・展示会への出展	・展示会への出展		
		実績	・展示会へ出展した	・展示会へ出展した	展示会への出展(2回)	展示会への出展(1回)		
	ユニバーサルツーリズム推進にかかる取組状況調査の実施	目標	-	1回	1回	1回		
		実績	-	1回	1回	1回		
進捗状況説明	①観光関連事業者を対象としたセミナー及びアドバイザー派遣を7回実施した。 ②おきなわユニバーサルツーリズムのプロモーションのため、展示会に1回出展した。 ③77事業者から回収できた。							
成果目標 (指標) 及び達成状況	R5成果目標(指標)		基準値 (〇〇年度)	R3年度	R4年度	R5年度	目標値 (〇〇年度)	
	心のバリアフリー認定制度の周知と同制度の認定促進に向けた取組(新規認定10件以上)	目標	-	10件	10件	10件	-	
		実績	-	6件	6件	17件	-	
	【R6 成果目標】 心のバリアフリー認定制度の周知と同制度の認定促進に向けた取組(新規認定10件以上)		目標	-	-	-	-	30件
	達成状況説明	・心のバリアフリー認定制度の周知と同制度の認定促進に向け、セミナーやアドバイザー派遣を実施した結果、目標より7件多く認定事業者が増え、目標を達成した。						

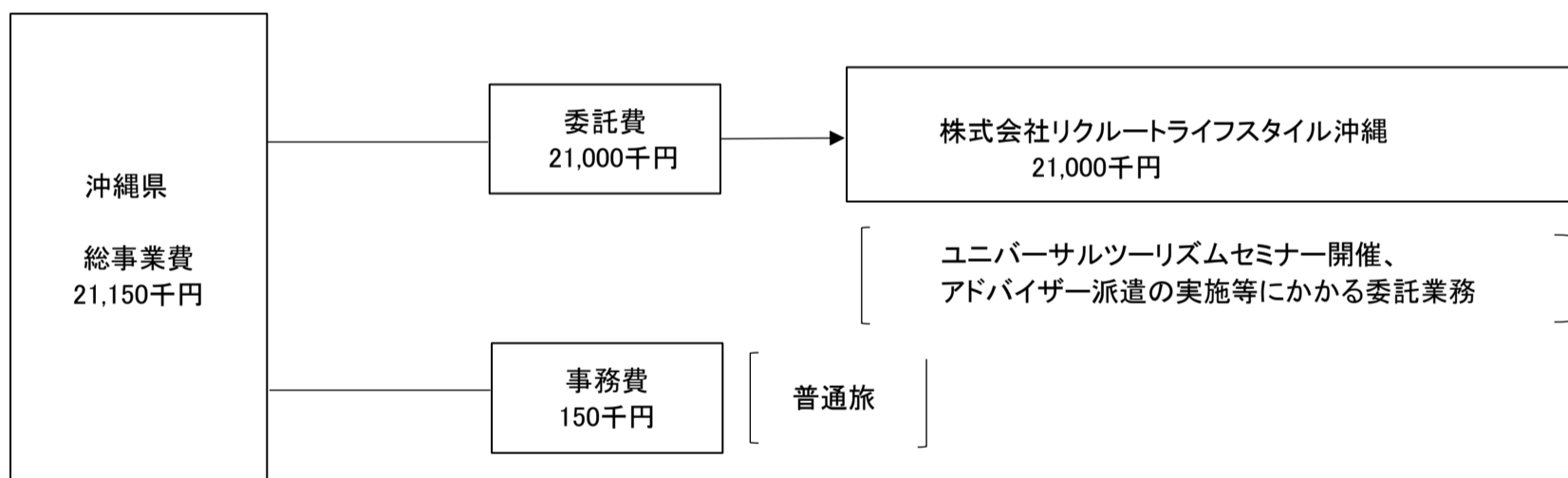
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	高齢者、障害者に加え、性的マイノリティの方、妊婦の方、病気療養中の方など当事者のみならずその家族・同行者も含め、観光をする上で支援が必要となる方々の多種多様なニーズに応じた受入環境整備とともに、ユニバーサルツーリズムにかかる情報発信が必要である。	受入環境整備といってもハード面の整備だけでなく、観光関連事業者や県民一人ひとりが、「心のバリアフリー」を意識していくことで、世界から選ばれる持続可能な観光地形成を目指す。 PRツールの多言語化や既存のポータルサイトのアクセシビリティ向上を図り、誰もが容易に情報収集できるように改修する。

今後の取り組み方針

・県内の観光関連事業者に対し、観光庁が創設した「心のバリアフリー」認定制度の周知を図り、同制度の認定事業者数を増やすことで、誰もが気兼ねなく参加できる「おきなわユニバーサルツーリズム」をさらに促進させる。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	うち交付金充当額				交付対象外経費
		うち交付金充当額	うち県負担金	うち市町村負担金	その他	
21,150	21,150	16,920	4,230	0	0	0



資金の 使途の 流れ、 費目 ・ 点検 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
資金の 使途の 流れ、 費目 ・ 点検 評価	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者は公募型プロポーザル方式により企業組織、実績、知識等を勘案した上で選定しており、妥当であったと考えている。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	○費目・使途が事業目的達成の観点から必要なものかなどについて、額の確定検査時に支出に関する書類確認を行った結果、適正であった。
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

令和5年度沖縄振興特別推進交付金事業（県分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	137	外国人観光客受入体制強化事業	沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	3-(2)-7-②			
担当部課名	文化観光スポーツ部観光振興課	事業実施(予定)年度	H27 ~ R13 年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ-1-(1)		
事業内容	<p>①外国人観光客を県民が温かく迎え入れる気運を高めるため、県民向けにイベント、メディアを活用した外国人観光客受入意識向上のためのプロモーションを実施する。</p> <p>②外国人観光客の利便性の確保を図るため、外国人観光客向け多言語MAPやマナーブック等を製作し、県内事業者へ配布する。</p> <p>③ムスリム等に対応できる受入環境を整備し、当該観光客の増加等、特定地域に偏らない誘客に繋げるため、ムスリム等に対応できる食に関する受入マップの作成、セミナーの開催及び食の対応県内調査を実施するとともに、イスラム教の教えや生活習慣等の基礎知識をまとめたムスリム旅行者おもてなしハンドブックの増刷等を行う。</p> <p>④インバウンドビジネスの専門講師によるセミナーやセミナーに併せて個別相談を実施する。</p>						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】		R3年度	R2年度(繰越)	R4年度	R4年度(繰越)	R5年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	100,341		19,962		25,469
		(b) 予算現額	100,341		19,962		25,469
		(c) 増減額(b-a)	0	0	0	0	0
		(d) 前年度繰越額	0				
		A. 計(b+d)	100,341	0	19,962	0	25,469
	B. 執行済額		93,832		19,597		25,360
	うち交付金充当額		75,066		15,678		20,288
	C. 次年度繰越額		0		0	0	0
	執行率(%) (B/A)		93.5%	#DIV/0!	98.2%	#DIV/0!	99.6%
予算の状況の説明		・執行率は99.6%であり、計画的に執行できた。					
活動目標(指標)及び進捗状況	R5活動目標(指標)		進捗状況				
			R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	
	①-1各種メディアを活用した県民啓発の実施	目標	実施	実施	実施	実施	
		実績	実施	実施	実施	実施	
	①-2県民個人や企業の受入環境整備を促す取組の実施	目標	1件	1件	2件	2件	
		実績	3件	1件	2件	2件	
	②-3WEBやSNSを活用した県民啓発の実施	目標	1回	1回	2回	1回	
		実績	1回	2回	2回	2回	
	③受入ツール作成	目標	3回	1回	1回	1回	
		実績	1回	2回	2回	2回	
④ムスリム受入対応セミナーの実施	目標						
	実績						
⑤インバウンドビジネスセミナーの実施	目標						
	実績						
進捗状況説明	<p>①外国人観光客受入意識向上のためのプロモーションについては、計画どおり実施した。</p> <p>②受入ツール作成については、飲食店、ホテル等においてシートを指さすことで外国人観光客とコミュニケーションが取れるシステムを開発した。</p> <p>③ムスリム等受入環境整備については、オンライン形式でのセミナーを2回開催した。</p> <p>④インバウンドビジネスサポートについては、オンライン形式でのセミナーを2回開催した。</p>						

R5成果目標(指標)		基準値	R3年度	R4年度	R5年度	目標値
		(〇〇年度)				(〇〇年度)
【インバウンド受入強化啓発】 ②-1プロモーションの県民へのリーチ数 メディアPV数/GRP数 県民の外国人観光客をおもてなしの心で迎え入れる意識が向上したか(80%以上)を含め、事業のあり方をアンケートにより検証する。	目標			5,000PV 80.0%	5,000PV 80.0%	
	実績			410,000PV 80.2%	22,758PV 88.8%	
【インバウンド受入強化啓発】 ①-2 イベント参加人数	目標			100人	100人	
	実績			31人	40人	
【受入ツール制作】 ②-1 受入ツール配布数 ※配布ではなく、ウェルカムんちゅサイトへの掲載に変更	目標			2,000部	2,000部	
	実績			HP掲載済	HP掲載済	
【受入ツール制作】 ②-2 受入ツールを配布した県内事業者に対し、ツールが外国人観光客の対応に役立ったか(80%以上)を含め、事業のあり方をアンケートにより検証する。	目標		80.0%	80.0%	80.0%	
	実績		96.4%	71.5%	79.6%	
【食の多様性対応促進】 ③-1受入ツールの配布数 ※配布ではなく、ウェルカムんちゅサイトへの掲載に変更	目標			500部	500部	
	実績			HP掲載済	HP掲載済	
③-2セミナー参加者数	目標			各20名以上	各20名以上	
	実績			平均20.5名	平均26.5名	
【インバウンドビジネスサポート】 ④セミナー参加者数	目標			各20名以上	各20名以上	
	実績			平均28.5名	平均73名	
達成状況説明	<p>①インバウンド受入強化啓発事業について、イベント参加者人数は、目標を下回った。</p> <p>②受入ツール制作について、お役立ち度について、わずかに目標に届かなかった。</p> <p>③食の多様性対応促進について、セミナー参加者は目標を達成した。</p> <p>④インバウンドビジネスサポートセミナー参加者数について、目標を超えることができた。</p>					

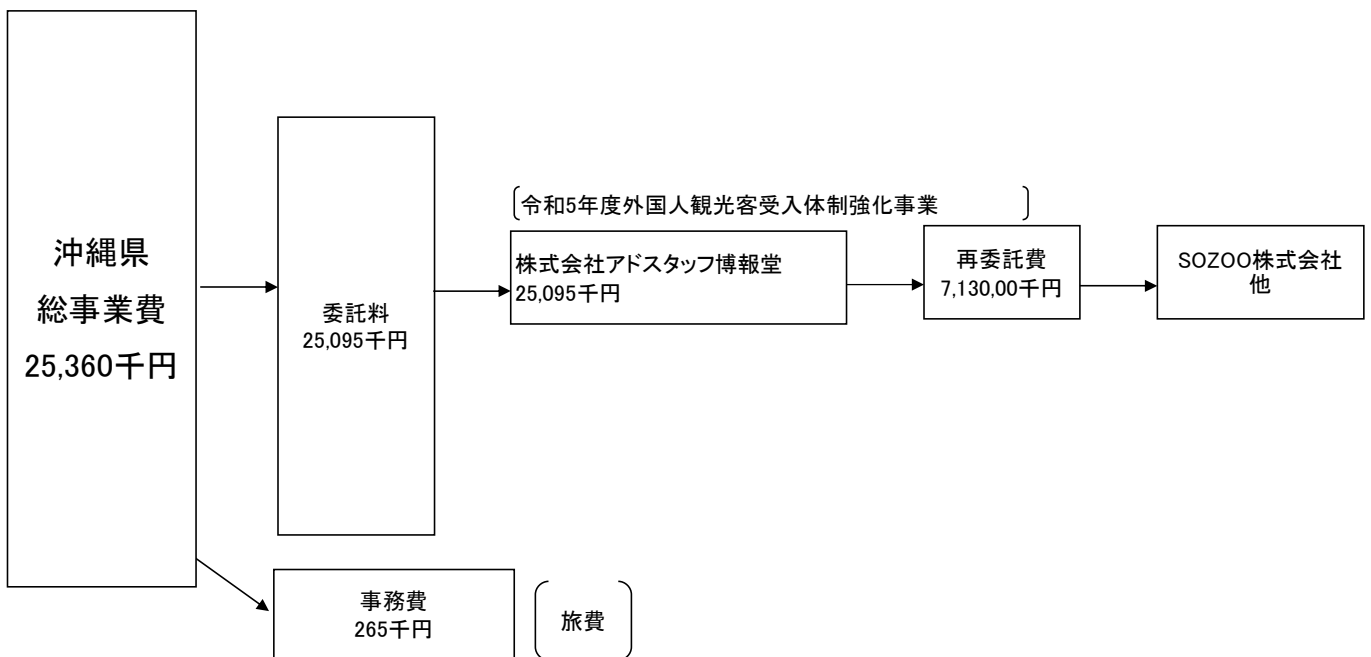
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	①新型コロナウイルス感染症の5類移行後、国内客を中心に観光需要が急激に回復している。外国人観光客についても、東アジアを中心に航空路線やクルーズが再開し、回復傾向にある。 ②外国人観光客の沖縄旅行全体に対する満足度(「大変満足」と回答した観光客数の割合)は、41.4%(空路と海路の平均値)、国内旅行者の64.6%に比べ約23ポイント低い結果となっている(令和元年度外国人観光客実態調査)。	①外国人観光客の本格的な回復に向けて、安心・安全に観光を楽しむ受入環境を構築する必要がある。 ②県民のインバウンド受入意識の高揚を図るとともに外国人観光客に対しては、マナーの周知・啓発が求められる。

今後の取り組み方針

・引き続き、インバウンド受入ツールの作成やインバウンド受入に関する県民向けの意識啓発を行い、県民の外国人観光客受入機運の向上を促進し、外国人観光客の満足度向上を図る。
 ・引き続き、外国人観光客の利便性の確保を図るため、インバウンドビジネスセミナーを開催しインバウンドビジネスの普及促進・高付加価値化を促進する。
 ・引き続き、多様な食文化を持つインバウンド受入環境の整備を促進するため、県内飲食関連事業者向けに多様な食文化への対応に関するセミナーを開催する。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	うち交付金充当額	うち県負担金	うち市町村負担金	その他	交付対象外経費
25,360	25,360	20,288	5,072	0	0	0



資金の 使途の 流れ、 費目 点検 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○各事業業務委託の委託先の選定については、事業内容に応じて企画提案選定を適切に実施し、適正に業者を選定した。 ○事業内容に見合う適正な予算規模であった。 ○費目・使途については、事業期間中及び完了時に証憑等の関係書類を検査し、適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

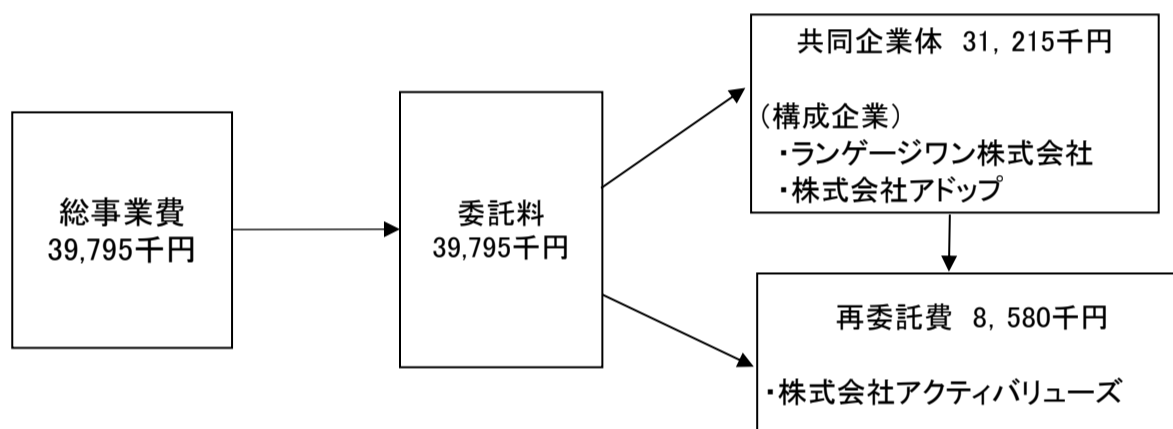
令和5年度沖縄振興特別推進交付金事業（県分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	141	Be.Okinawa多言語コンタクトセンター運営事業		沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	3-(2)-ア-②		
担当部課名	文化観光スポーツ部観光振興課	事業実施 (予定)年度	H24 ~ R13 年度	沖縄振興基本方針 該当箇所	Ⅲ-1-(1)		
事業内容	英語、中国語(簡・繁)、韓国語、タイ語にて、電話(ナビダイヤル、web電話、)メール、チャット(有人対応)各種SNS、チャットボット(自動応答)のチャネルを活用し、外国人観光客に対し情報提供や通訳サポートを行う。webサイトからの県内情報、よくある問い合わせFAQを発信し、外国人観光客の県内周遊サポートを行う。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】		R3年度	R2年度(繰越)	R4年度	R3年度(繰越)	R5年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	42,720		32,119		40,500
		(b) 予算現額	42,720		32,646		40,500
		(c) 増減額(b-a)	0	0	527	0	0
		(d) 前年度繰越額	0		0		0
		A. 計(b+d)	42,720	0	32,646	0	40,500
	B. 執行済額		42,718		30,131		39,795
	うち交付金充当額		34,174		24,105		31,836
	C. 次年度繰越額		0		0	0	0
	執行率(%) (B/A)		100.0%		92.3%		98.3%
予算の状況の説明		・執行率は98.3%であり、計画的に執行できた。					
活動目標(指標)及び進捗状況	R5活動目標(指標)		進捗状況				
			R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	
	多言語コンタクトセンター対応件数(20%増)		目標	3,000件	600件	720件	864件
		実績	283件	141件	322件	757件	
進捗状況説明	多言語コンタクトセンター対応件数については、目標値20%増には達しなかったが、実績値においては、R4年度の約2.45倍と上回った。						
成果目標(指標)及び達成状況			基準値 (25年度)	R3年度	R4年度	R5年度	目標値 (R6年度)
	・コンタクトセンター利用者の満足度80%以上	目標		80.0%	80.0%	80.0%	80.0%
		実績		93.3%	80.0%	97.2%	
	・チャットボット応答率95%、解決率80%、正答率80%	目標			応答率95% 解決率80% 正答率80%	応答率95% 解決率80% 正答率80%	応答率95% 解決率80% 正答率80%
		実績			応答率100% 解決率76.5% 正答率76.5%	応答率95% 解決率80% 正答率80%	
達成状況説明	<p>・多言語コンタクトセンター利用者に対しヒヤリングを実施した結果、コンタクトセンターの利用に「満足した」と回答した割合が、目標80%に対し実績97.2%で目標を達成することが出来た。</p> <p>・チャットボットにおける回答内容の満足度について、アンケートを実施した結果、満足率は、67.4%に上った。不満足評価の多くは、交通関連の質問に対して寄せられており、改善に注力する必要がある。</p>						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	需要の回復に伴い、問い合わせ件数が増加するとともに、観光客のニーズも多様化していることから、迅速な情報連携と対応が求められている。	・「観光案内所」と統合し、窓口を一本化することにより、柔軟な情報連携およびチャットボットにおける対話ログの充実化を図る ・チャットボット機能等の精度向上
今後の取り組み方針		
引き続き、事業者等の外国語対応を補完する役割を果たす多言語コンタクトセンターの整備拡充を通して、外国人観光客の満足度向上を図る。		

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	うち交付金充当額	うち県負担金	うち市町村負担金	その他	交付対象外経費
39,795	39,795	31,836	7,959	0	0	0



資金の 使途の 流れ、 費目 ・ 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○各事業業務委託の委託先の選定については、事業内容に応じて企画提案選定を適切に実施し、適正に業者を選定した。 ○事業内容に見合う適正な予算規模であった。 ○費目・使途については、事業期間中及び完了時に証憑等の関係書類を検査し、適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

令和5年度沖縄振興特別推進交付金事業（県分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	142	インバウンド医療受入体制整備事業	新沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所 (第4章)	3-(2)-ア-①			
担当部課名	文化観光スポーツ部 観光振興課	事業実施 (予定)年度	H28～R6 年度	沖縄振興基本方針 該当箇所	Ⅲ-1-(1)		
事業内容	外国人観光客が急な病気・ケガに見舞われた場合でも、安心して沖縄観光が楽しめるような受入環境を整備として、医療対応多言語コールセンターの設置や観光事業者向けの傷病者対応、保健衛生に関するセミナーを実施することで、「安全・安心な島」の構築を図る。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位：千円】		R3年度	R3年度(繰越)	R4年度	R4年度(繰越)	R5年度	
	予算 の 状 況	(a) 当初予算額	100,341		25,357		27,822
		(b) 予算現額	100,341		25,357		27,822
		(c) 増減額(b-a)	0	0	0	0	0
		(d) 前年度繰越額					
		A. 計(b+d)	100,341	0	25,357	0	27,822
	B. 執行済額		93,832		25,291		27,679
	うち交付金充当額		75,066		20,233		22,143
	C. 次年度繰越額				0	0	0
	執行率(%) (B/A)		93.5%		99.7%		99.5%
予算の状況の説明		・執行率は99.5%であり、概ね計画的に執行できた。					
活動目標 (指標) 及び進捗状況	R5活動目標(指標)		進捗状況				
			R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	
	コールセンターにおける応答率90%以上		目標		90.0%	90.0%	
			実績		100%	100%	
進捗状況説明	・応答率は、100%で目標値を達成した。						
成果目標 (指標) 及び達成状況	R5成果目標(指標)		基準値 (〇〇年度)	R3年度	R4年度	R5年度	目標値 (〇〇年度)
	インバウンド対応医療コールセンター利用者へのアンケートにより、外国人観光客への医療対応の役に立ったか(80%以上)を含め、当該事業のあり方をアンケートにより検証する。		目標	80.0%	80.0%	80.0%	
			実績	100.0%	83.3%	83.0%	
	達成状況説明	医療機関向けにアンケートを実施し、コールセンターについて、外国人観光客の患者受入れ対応に有用であったかアンケートを行ったところ、大変有用であったが50%、有用であったが33%との回答があった。併せて83%が有用であるとの回答があり目標を達成した。					

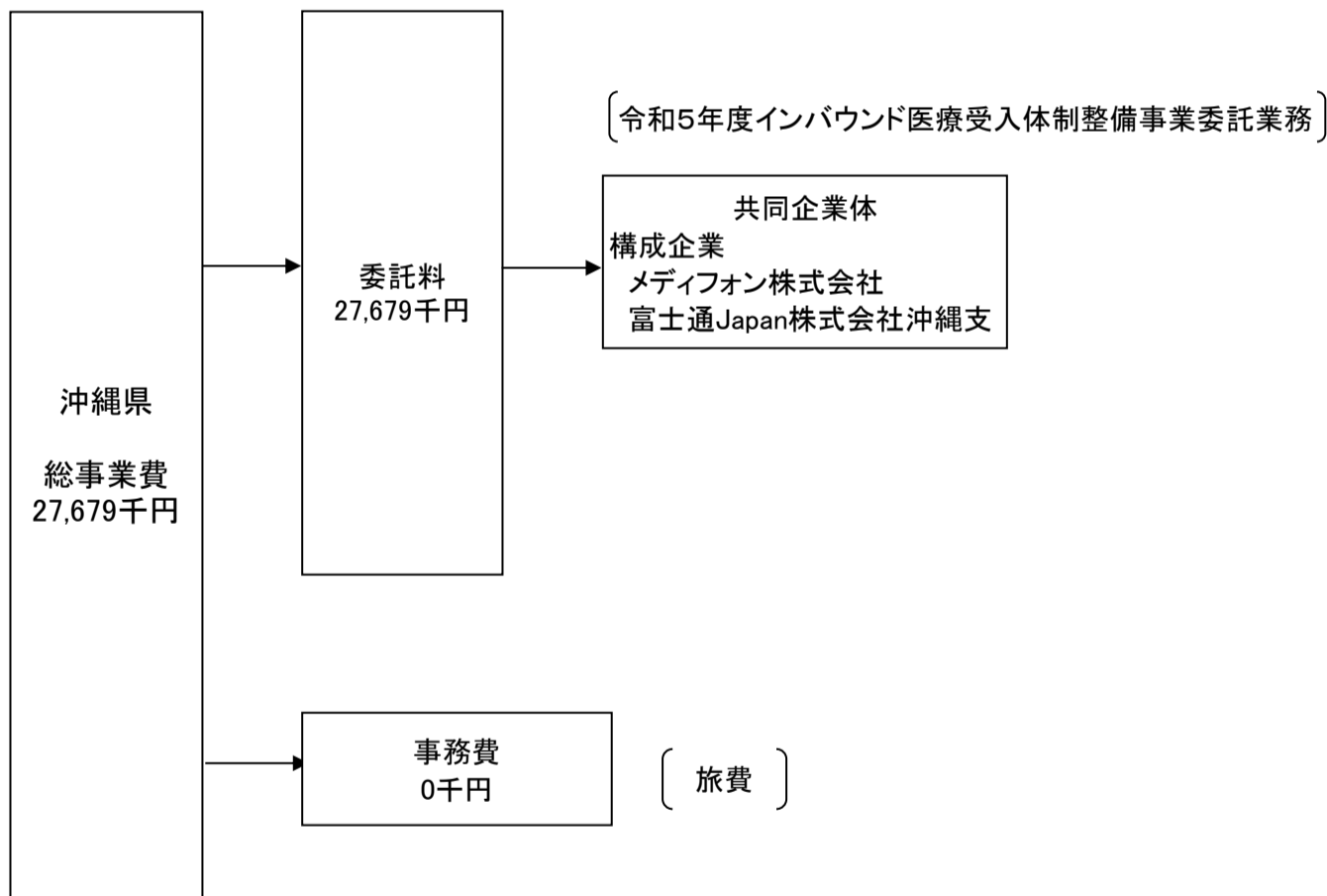
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナの5類移行後、外国人観光客の回復に伴い、医療関係者を中心に外国人の急病等による医療受入れ体制の構築について、引き続き当該事業等による県の対応を強化して欲しいとの要望がある。 ・又、過去の課題を踏まえ、医療関係者から、観光関係者と連携した外国人医療の受入れ体制構築に向けた機運が高まっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・当該事業の取組みについて、医療関係者や観光事業者に対して周知啓発を図り、事業活用による医療関係者の負担軽減に取り組む必要がある。 ・外国人観光客の受入れによる医療関係者の負担軽減に向けた意見交換を行など、医療関係者との連携を強化していく必要がある。

今後の取り組み方針

- ・当該事業の周知啓発を図り、事業の活用により外国人観光客の受入れによる医療関係者及び観光事業者の負担軽減に向けて取り組む。
- ・医療関係者や観光事業者と意見交換を行い、必要に応じて事業内容の改善を図ることにより外国人観光客の受入れ基盤の強化に向けて取り組む。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	うち交付金充当額	うち県負担金	うち市町村負担金	その他	交付対象外経費
27,679	27,679	22,143	5,536	0	0	0



資金の 使途の 流れ、 費目 ・ 評価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
資金の 使途の 流れ、 費目 ・ 評価	○	支出先の選定方法は妥当か。	<ul style="list-style-type: none"> ○各事業業務委託の委託先の選定については、事業内容に応じて企画提案選定を適切に実施し、適正に業者を選定した。 ○事業内容に見合う適正な予算規模であった。 ○費目・使途については、事業期間中及び完了時に証憑等の関係書類を検査し、適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

令和5年度沖縄振興特別推進交付金事業（県分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	167 沖縄フラワークリエイション事業	新沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所（第4章）	3-(2)-ア-②				
担当部課名	土木建築部 道路管理課	事業実施（予定）年度	H24～R13 年度		沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ-1-(1)	
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・沖縄らしい風景づくりの観点から花木等を設置し重点管理を行うことで観光地沖縄の魅力向上を図る。 ・観光地へアクセスする道路のプランター、植樹柵への植栽及び重点管理。 ・街路樹マップシステム設計 						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度（ 年度）						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他（ ）						
予算額・執行額【単位：千円】		R3年度	R3年度（繰越）	R4年度	R4年度（繰越）	R5年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	370,993		636,533	0	608,274
		(b) 予算現額	370,993		636,533	0	608,274
		(c) 増減額 (b-a)	0	0	0	0	0
		(d) 前年度繰越額	0		0		11,285
		A. 計 (b+d)	370,993	0	636,533	11,285	619,559
	B. 執行済額		370,844		624,489	10,285	608,197
	うち交付金充当額		296,675		499,591	8,228	486,558
	C. 次年度繰越額		0		11,285	0	0
	執行率（%）(B/A)		100.0%		98.1%	91.1%	98.2%
予算の状況の説明		R4年度・R5年度それぞれ執行残は不用としている。					
活動目標（指標）及び進捗状況	R5活動目標（指標）		進捗状況				
			R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	
	花の植花・環境整備（41路線）	目標	41路線	41路線	-	-	
		実績	41路線	41路線	-	-	
	観光地へアクセスする道路への緑化重点管理延長	目標			80km	80km	
		実績			80km	80km	
	街路樹マップシステムの設計	目標			実施	実施	
		実績			実施	完了	
進捗状況説明	R5年度は、観光地へアクセスする道路への緑化重点管理延長80kmに対して80km,コンテナの飾花等の植栽管理業務を委託する形で事業を実施した。街路樹マップシステムについては、設計が完了した。						
成果目標（指標）及び達成状況	R5成果目標（指標）		基準値（〇〇年度）	R3年度	R4年度	R5年度	目標値（〇〇年度）
	観光地への主要道路としてふさわしい道路景観であると感ずるかを含め（80%以上）、当該事業のあり方をアンケート調査により検証する	目標	-	80%	80%	80%	
		実績	-	92%	89%	90%	
	達成状況説明	・国際通りや県庁前広場において無作為に観光客に対して、本事業の効果として、観光地への主要道路としてふさわしい道路景観であると感ずるか（目標値：80%以上）をアンケートで検証し、満足していると回答した者が90%となり、目標を達成した。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	・定期的なパトロール等により生育・開花の状況を継続的に確認し、植栽箇所の環境条件に応じた適切な花木や草花を各季節で開花できるように選定や管理方法、育成点検、灌水手法について検証し、各土木事務所や造園業者と連携して改善策を検討しながら、品質確保と向上を図る。 ・道路ボランティア団体への支援・普及啓発により、住民と行政の協働による「美しい道路環境づくり」を推進する。	・定期的なパトロール等を実施し、草花等の育成管理を年間通じて実施した。また、季節や植栽箇所の状況等に応じ、草花や花木を選定し、植物が良好な状態を保てるよう灌水などの対応を取った。また、造園業者と意見交換会を実施し、品質の向上に努めた。 ・道路ボランティアの支援と普及に努め、前年度の544団体から、551団体まで増加させることができた。また、民間資金を活用したボランティア制度について検討を行った。

今後の取り組み方針

年間を通して、草花等の生育状況を継続的に確認し、植栽箇所の環境条件に応じた適切な花木や草花、アレロパシー植物等の植栽を行い、良好な沿道景観の向上を図る。

資金の流れ

(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	うち交付金充当額	うち県負担金	うち市町村負担金	その他	交付対象外経費

支出先	契約業務名及び業務概要	支出額(千円) ※事業費ベース		入札者数	落札率
		うち交付金充当額			
1 (有) 大和緑建	契約業務名 北部管内フラワークリエイション業務委託 (R5-1) 業務概要 植栽管理業務	36,939	29,551		
2 (有) 名護緑化センター	契約業務名 北部管内フラワークリエイション業務委託 (R5-3) 業務概要 植栽管理業務	20,774	16,619		
3 社会福祉法人 豊鏡会	契約業務名 北部管内フラワークリエイション業務委託 (R5-4) 業務概要 植栽管理業務	8,085	6,468		
4 (有) ナカムラ造園土木	契約業務名 北部管内フラワークリエイション業務委託 (R5-5) 業務概要 植栽管理業務	24,141	19,313		
5 (有) 前川グリーン土木	契約業務名 中部管内道路修景業務委託 (R5-1) 業務概要 植栽管理業務	37,695	30,156		
6 (株) 緑一	契約業務名 中部管内道路修景業務委託 (R5-2) 業務概要 植栽管理業務	43,150	34,520		
7 (株) 松幸	契約業務名 中部管内道路修景業務委託 (R5-3) 業務概要 植栽管理業務	28,209	22,567		
8 (有) グリーンスタッフ	契約業務名 中部管内道路修景業務委託 (R5-4) 業務概要 植栽管理業務	22,781	18,225		
9 (有) 桂植木	契約業務名 中部管内道路修景業務委託 (R5-5) 業務概要 植栽管理業務	21,162	16,930		
10 (株) 平成造園	契約業務名 フラワークリエイション業務委託 (南部管内R5-2) 業務概要 植栽管理業務	33,870	27,096		
11 (株) 諸見里造園土木	契約業務名 フラワークリエイション業務委託 (南部管内R5-3) 業務概要 植栽管理業務	32,301	25,841		
12 (有) オキケン開発	契約業務名 フラワークリエイション業務委託 (南部管内R5-4) 業務概要 植栽管理業務	33,501	26,801		
13 (有) 西崎緑地開発	契約業務名 フラワークリエイション業務委託 (南部管内R5-5) 業務概要 植栽管理業務	31,139	24,911		
14 一般財団法人 沖縄県セルフセンター	契約業務名 フラワークリエイション業務委託 (南部管内R5-1) 業務概要 植栽管理業務	14,186	11,349		
15 社会福祉法人 みやこ福祉会	契約業務名 宮古管内道路修景業務委託 (R5-1) 業務概要 植栽管理業務	4,070	3,256		
16 (株) ダイユウ建設	契約業務名 宮古管内道路修景業務委託 (R5-2) 業務概要 植栽管理業務	29,796	23,837		
17 (有) 緑建開発	契約業務名 宮古管内道路修景業務委託 (R5-3) 業務概要 植栽管理業務	29,306	23,445		
18 (株) ダイユウ建設	契約業務名 宮古管内道路修景業務委託 (R5-4) 業務概要 植栽管理業務	31,814	25,451		
19 (有) 大森開発	契約業務名 宮古管内道路修景業務委託 (R5-6) 業務概要 植栽管理業務	15,007	12,006		
20 (株) 龍生造園	契約業務名 石垣島管内道路修景業務委託 (R5-1) 業務概要 植栽管理業務	20,089	16,071		
21 (有) 砂川庭園	契約業務名 石垣島管内道路修景業務委託 (R5-2) 業務概要 植栽管理業務	21,978	17,582		
22 (有) 平和建設	契約業務名 石垣島管内道路修景業務委託 (R5-3) 業務概要 植栽管理業務	29,417	23,534		
23 (有) 大地造園	契約業務名 石垣島管内道路修景業務委託 (R5-4) 業務概要 植栽管理業務	30,649	24,519		
24 (株) 南西環境研究所	契約業務名 重点管理路線計画策定業務 (R4) 業務概要 植栽管理業務	10,285	8,228		
25 公益財団法人 沖縄県建設技術センター	契約業務名 道路植栽管理システム構築業務委託 (R5) 業務概要 植栽管理業務	8,129	6,503		

評価	点検項目	評価に関する説明
○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者は指名競争入札により実績を勘案した上で選定しており、妥当であったと考えている。 なお、随意契約による業務は、シルバー人材等の活用によるもので、軽易な業務となっている。 ○費目・用途については事業目的達成の観点から適正であった。
○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

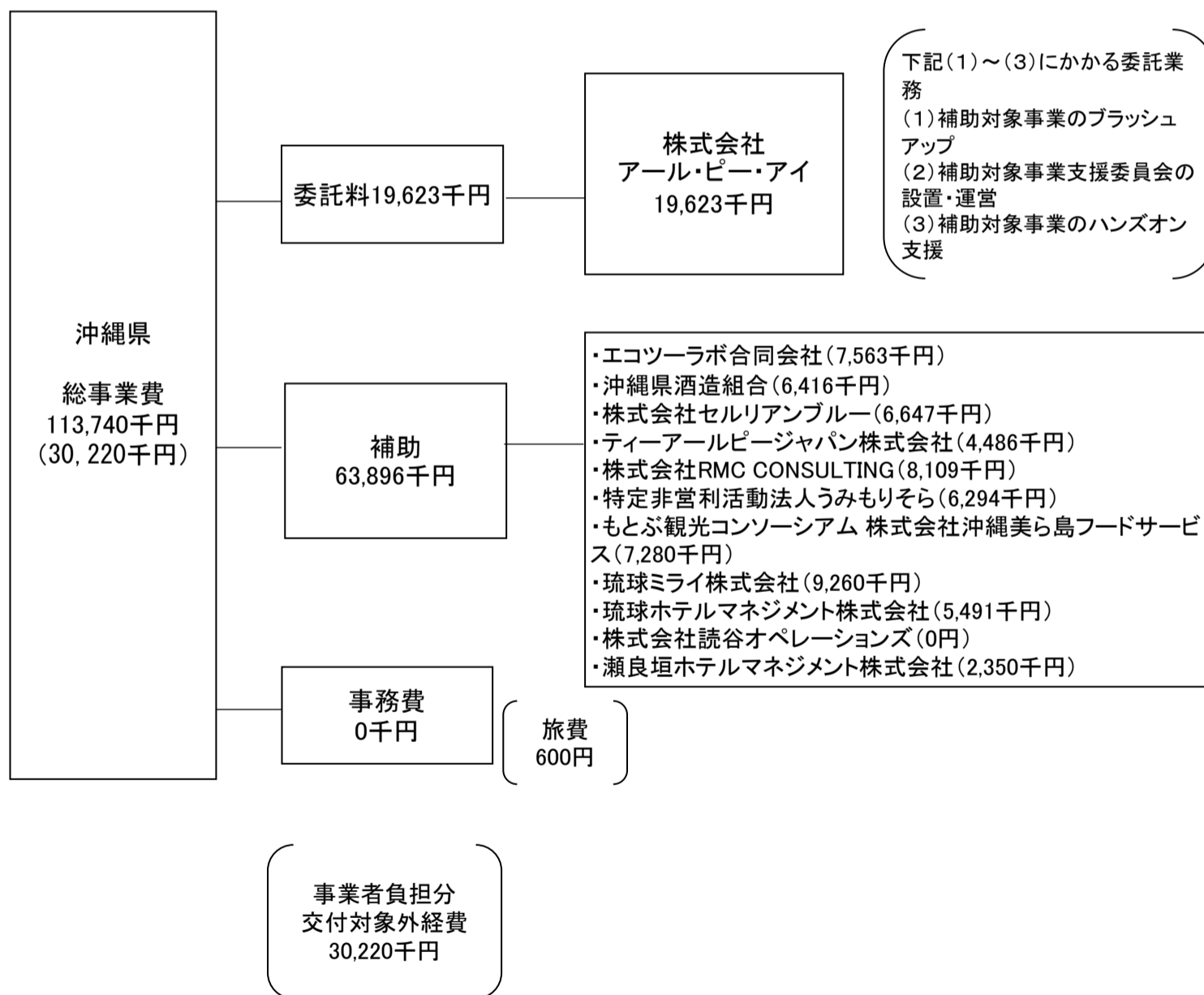
令和5年度沖縄振興特別推進交付金事業（県分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	139	沖縄観光コンテンツ開発支援事業		新沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所 (第4章)	3-(2)-ウ-①		
担当部課名	文化観光スポーツ部 観光振興課	事業実施 (予定)年度	H30~R13 年度	沖縄振興基本方針 該当箇所	III-1-(1)		
事業内容	世界から選ばれる持続可能な観光地の形成を目指し、沖縄の地域資源(自然、文化、歴史等)を活用した多彩で質の高い観光コンテンツ開発に取り組む民間事業者等に対し、支援を行う。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】		R3年度	R3年度(繰越)	R4年度	R4年度(繰越)	R5年度	
	予算 の 状 況	(a) 当初予算額	81,903		121,187		100,037
		(b) 予算現額	49,903		121,187		100,037
		(c) 増減額(b-a)	▲ 32,000	0	0	0	0
		(d) 前年度繰越額					
		A. 計(b+d)	49,903	0	121,187	0	100,037
	B. 執行済額		40,625		105,607		83,520
	うち交付金充当額		32,500		84,485		66,816
	C. 次年度繰越額				0	0	0
	執行率(%) (B/A)		81.4%		87.1%		83.5%
予算の状況の説明		執行率は83.5%であり、不用の主な理由は、沖縄観光コンテンツ開発支援事業補助金における執行残。					
活動目標 (指標) 及び進捗状況	R5活動目標(指標)		進捗状況				
			R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	
	観光商品開発支援件数		目標	12件	8件	10件	10件
		実績	5件	8件	15件	11件	
進捗 状 況 説 明	10件を目標とし、結果として11件の支援となった。						
成果目標 (指標) 及び達成状況	R5成果目標(指標)		基準値 (〇〇年度)	R3年度	R4年度	R5年度	目標値 (〇〇年度)
	R2年度に補助を終了した事業における自走化割合	目標		70%			
		実績		80.0%			
	開発した観光コンテンツ利用者数	目標			10,000人		
		実績			11,134人		
	R4年度に支援した事業の自走化率	目標				60%	
		実績				60%	
【R6成果目標】 R5年度に支援した事業の自走化率	目標					60%	
達成 状 況 説 明	R4年度に支援した事業の自走化率60%となり目標を達成した。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	補助事業の自走化に向け、事業費を抑制しつつ、質の高い事業にするため、事業内容及びプロモーション方法等のブラッシュアップ、フォローアップを図る必要がある。	補助事業の自走化割合を高めるため、資金調達、総事業費のコンパクト化を含めた助言ができる支援体制の構築、新たなフォローアップ支援が必要である。また、関連事業者等との横の繋がりを作るため、すでに事業を自走化させている補助事業経験者等とのネットワーク構築の機会創出を図ることも必要である。
今後の取り組み方針		
自走化支援アドバイザーチームを編成し、補助事業期間中に事業者が自走化に向けた体制を構築できるよう支援する。さらに、補助が終了した事業者に対しても適宜フォローアップ調査等を実施し事業を継続していくための助言を行う。また、過去支援した事業者と観光関連団体との商談会等のマッチング機会を創出する。		

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	うち交付金充当額	うち県負担金	うち市町村負担金	その他	交付対象外経費
113,740	83,520	66,816	16,704	0	0	30,220



資金の流し、点検項目	評価	点検項目	評価に関する説明
資金の流し、点検項目	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者及び補助事業者は公募型プロポーザル方式により企業組織、実績、知識、計画等を勘案した上で選定しており、妥当であったと考えている。 ○費目・用途については、事業目的達成の観点から必要なものなのか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認し、適正であったと考えている。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

令和5年度沖縄振興特別推進交付金事業（県分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	144	マリンレジャー魅力向上促進事業	新沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所 (第4章)	3-(2)-ウ-①			
担当部課名	文化観光スポーツ部 観光振興課	事業実施 (予定)年度	R4~R6 年度	沖縄振興基本方針 該当箇所	III-1-(1)		
事業内容	セミナーを通じて沖縄のマリンレジャー事業者が観光客に提供できる魅力や価値について、磨き上げを行うとともに、プロモーションを通じて、観光客がマリンレジャー事業者の提供する安全・安心や質の高いサービス等を選ぶことができるよう取り組む。 ①マリンレジャー市場結果の分析及び周知啓発 ②マリンレジャー事業者実証業務 ③セミナーの実施						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input checked="" type="checkbox"/> 後年度(令和6年度)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他 ()						
予算額・執行額 【単位:千円】		R3年度	R3年度(繰越)	R4年度	R4年度(繰越)	R5年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額			8,152		7,337
		(b) 予算現額			8,152		7,337
		(c) 増減額(b-a)	0	0	0	0	0
		(d) 前年度繰越額					
		A. 計(b+d)	0	0	8,152	0	7,337
	B. 執行済額				7,741		7,330
	うち交付金充当額				6,193		5,864
	C. 次年度繰越額				0	0	0
	執行率(%) (B/A)				95.0%		99.9%
予算の状況の説明		・令和5年度予算は、県内マリンレジャー及び事業者の魅力を高めるために委託料の経費を計上したところであり、令和4年度に比べ815千円減額となっているのは、人件費を減じたことによるものである。 ・執行率は99%であり、計画的に執行できた。					
活動目標 (指標) 及び進捗状況	R5活動目標(指標)		進捗状況				
			R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	
	セミナー参加事業者数	目標			100	—	
		実績			184	—	
	SNS等での情報発信 リーチ数	目標			20万	—	
		実績			32万	—	
	マリンレジャー事業者の質の向上に向けたセミナー開催	目標				2回	
		実績				2回	
	プロモーションの実施	目標				3回	
		実績				3回	
進捗状況説明	・マリンレジャー事業者に対してサステナブルツーリズムに寄与する意識啓発を行うことで、環境保全への意識が高い優良事業者が選ばれる市場環境の形成に繋がった。 ・観光客に対して事業者選定基準、購入方法等を明らかにし、環境保全への意識が高い優良事業者が選ばれる考え方について情報発信(プロモーション)等を行うことで、満足度向上に繋がった。						
成果目標 (指標) 及び達成状況	R5成果目標(指標)		基準値 (〇〇年度)	R3年度	R4年度	R5年度	目標値 (〇〇年度)
	観光客及び事業者の満足度向上	目標			80%	80%	
		実績				83%	90%
	達成状況説明	①マリンレジャー事業者による検証結果の効果検証を行い、レスポンシブルツーリズムを推進することで、観光客及びマリンレジャー事業者の満足向上に繋がり、目標値を達成した。					

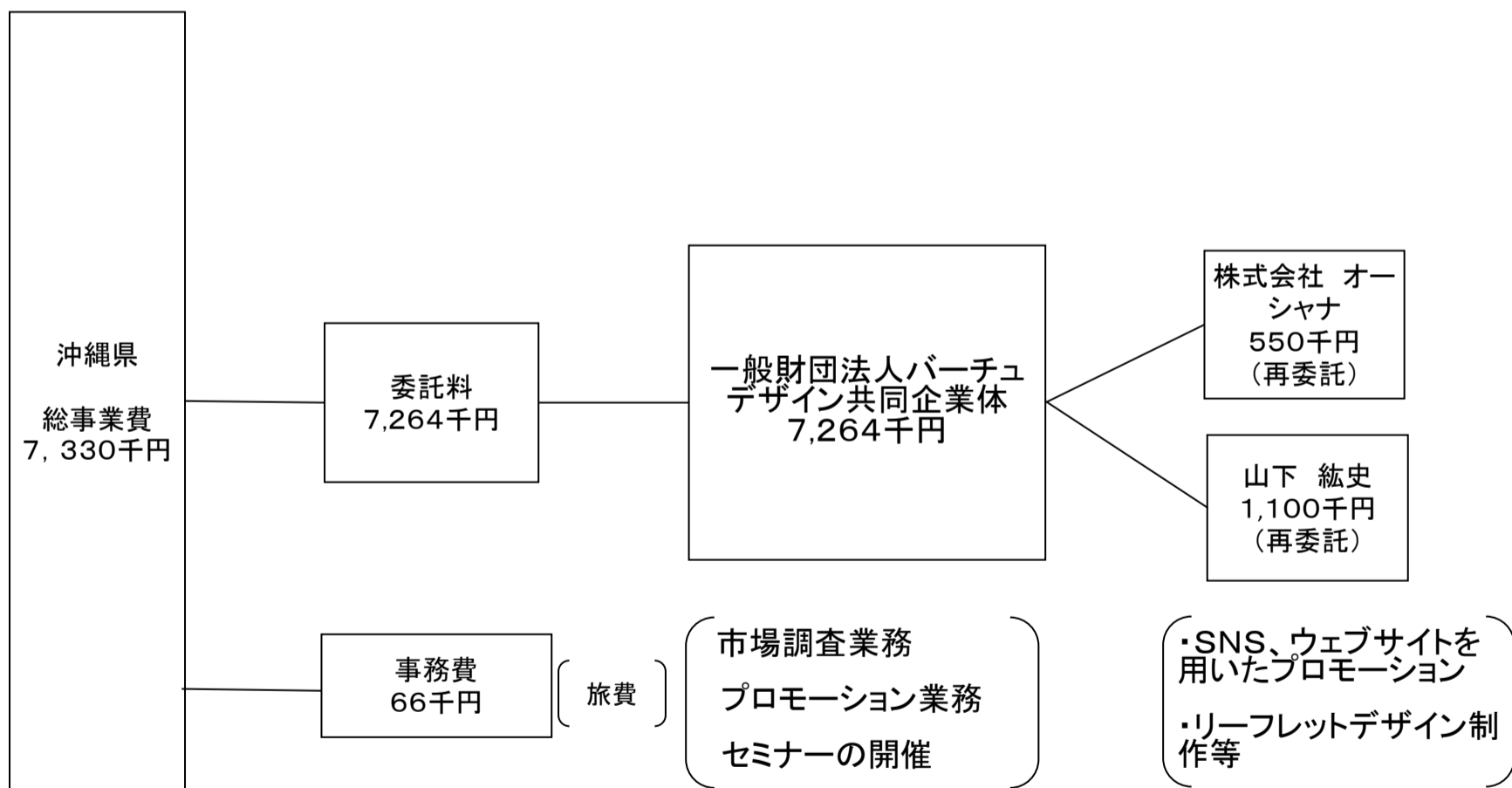
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	①マリンレジャー事業者が環境に配慮した取組を促すため、プロモーション拡大し、理解度向上を図る必要がある。	①マリンレジャー事業者が閲覧する広告媒体へのプロモーション回数の増加やランディングページの選定箇所の見直しを行う。

今後の取り組み方針

①市場調査の結果を基に効果分析を行い、環境に配慮した事業者をモデル事業者として紹介し、意識啓発へと展開する。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	うち交付金充当額	うち県負担金	うち市町村負担金	その他	交付対象外経費
7,330	7,330	5,864	1,466	0	0	0



資金の 使途の 流れ、 費目 ・ 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者は、企画提案プロポーザルによって選定したため、妥当であったと考える。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	○費目・使途については、事業報告書等进行检查し、適正である事を確認した。
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

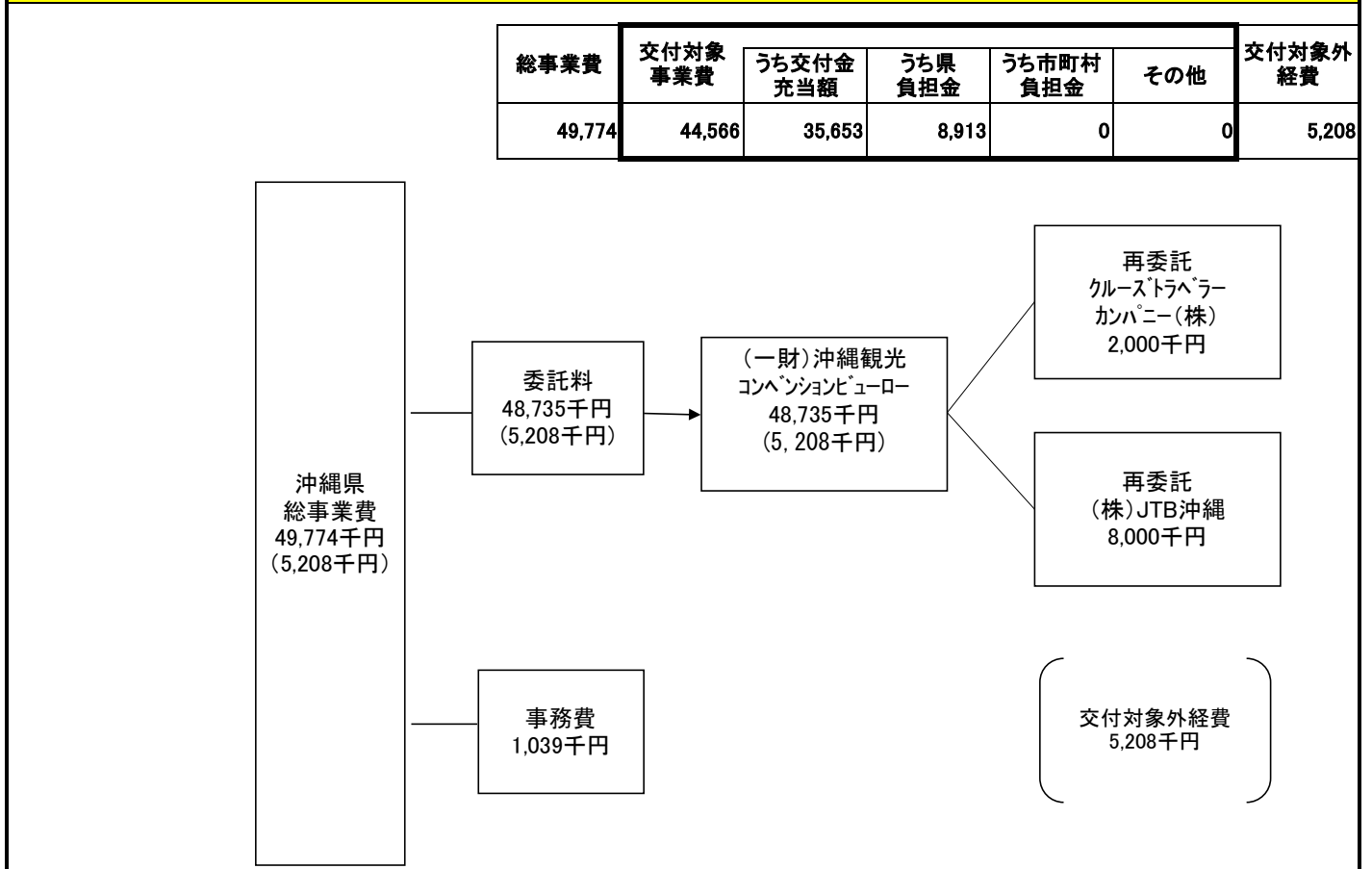
令和5年度沖縄振興特別推進交付金事業（県分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	145	戦略的クルーズ観光推進事業		新沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所 (第4章)	3-(2)-ウ-③		
担当部課名	文化観光スポーツ部	観光振興課	事業実施 (予定)年度	H24～R13	年度	沖縄振興基本方針 該当箇所	質の高いクルーズ観光の推進 Ⅲ-1-(1)
事業内容	質の高いクルーズ観光を推進するため、展示・商談会への出展、プロモーション、クルーズ船社等への誘致活動、寄港促進支援メニューを活用し、着地型観光の促進、周遊及び発着クルーズを戦略的に誘致に取り組みとともに、地域の受入体制の再構築・強化を図り、持続可能なクルーズ船の受入環境を構築する。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】		R3年度	R3年度(繰越)	R4年度	R4年度(繰越)	R5年度	
	予算 の 状 況	(a) 当初予算額	77,159		37,000		50,510
		(b) 予算現額	56,738		37,000		50,510
		(c) 増減額(b-a)	▲ 20,421	0	0	0	0
		(d) 前年度繰越額	0		0		
		A. 計(b+d)	56,738	0	37,000	0	50,510
	B. 執行済額		54,063		36,423		49,774
	うち交付金充当額		43,250		29,138		35,653
	C. 次年度繰越額		0		0	0	0
	執行率(%) (B/A)		95.3%		98.4%		98.5%
予算の状況の説明		執行率は98.5%であり、主に委託料の執行残が生じたことによるものであるが、計画的に実行できた。					
活動目標 (指標) 及び進捗状況	R5活動目標(指標)		進捗状況				
			R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	
	プロモーション実施地域数		目標	7地域	5地域	5地域	5地域
			実績	8地域	8地域	5地域	5地域
進捗 状 況 説 明	<ul style="list-style-type: none"> 令和5年3月に海外船が日本へ寄港された。クルーズが再開された台湾、中国、欧州、北米に加えて日本でもPRを行った。今後の邦船による沖縄発着の定着化も実現できた。 令和5年3月に予定されていた沖縄の小規模離島を周遊するエクスペディション・クルーズを実現した。沖縄でクルーズカンファレンスを開催したり、海外船初の沖縄発着クルーズの実施が実現できた。 						
成果目標 (指標) 及び達成状況	R5成果目標(指標)		基準値 (R1年度)	R3年度	R4年度	R5年度	目標値 (R13年度)
	プレミアム/ラグジュアリークラスのクルーズ船の寄港回数の割合(暦年)		目標	-	40.0%	40.0%	47.2
			実績	31.60%	-	100.0%	60.5%
	達成 状 況 説 明	<ul style="list-style-type: none"> 令和2年3月以降、本県におけるクルーズ船の寄港は休止状態となっていたが、保健衛生・医療、港湾管理者、観光関連等の行政機関において構成される沖縄県クルーズ船受入協議会による当面の受入方針・受入対応を策定し、地域の受入協議会における合意を図った上で、R4.6月に本県におけるクルーズ船の受入が再開された。 令和5年は145回寄港となっており45%がプレミアム/ラグジュアリーのクルーズとなった。 ※令和5年1月以降もクルーズ船の寄港はあったが、全国の港湾の寄港回数については、国土交通省が暦年で集計しており、成果指標も暦年で設定していることから、ここではカウントしていない。 					

取組の検証	推進上の留意点 (推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証 (効率の更なる向上の視点)
	<ul style="list-style-type: none"> 令和4年11月15日からは、日本における国際クルーズ船の受入が再開され、令和5年3月からは外国籍船による国際クルーズが再開された。 約3年ぶりに外国籍船による国際クルーズが再開されることとなったが、長期化する新型コロナウイルス感染症により、受入団体、貸切バスやタクシーなどの二次交通のインフラが大きな影響を受けており、受入体制に課題がある。 新型コロナウイルス初期に発生したダイヤモンド・プリンセス号による事案もあり、クルーズ船の寄港による感染拡大を懸念する声も一定程度あることから、クルーズ船社の取り組み等の周知に努め、クルーズ船の寄港受入にかかる地域の理解、協力を図っていく必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> クルーズ船の寄港に関係する港湾、観光、二次交通の受入団体の体制の再構築を図りながら、受入キャパシティを段階的に高めていく必要がある。 寄港が那覇港に集中しているため、二次交通、経済波及効果的にも寄港地の分散化が必要となる。 クルーズ船の受入団体の体制強化を図ると同時に、クルーズ船の入出港する時間や乗客・乗員数を、SNS等で住民向けに発信することにより、交通渋滞やスーパーやタクシー利用時間の分散化を図り、住民を含めた地域全体の受入キャパシティを強化していく必要がある。 ラグジュアリーやプレミアムクラスなどの県産食材などのPR及び活用

今後の取り組み方針
<ul style="list-style-type: none"> 新・沖縄21世紀ビジョン基本計画において、質の高いクルーズ観光の推進を掲げており、寄港地を中心とした着地型観光、離島周遊によるエクスペディションクルーズ、沖縄の港湾を発着港とするフライ&クルーズを推進することにより、地域経済への波及効果を高める取組を行うこととしている。 このため、各地域のクルーズ促進協議会等との連携強化を図り、受入キャパシティに応じたクルーズ船の誘致、寄港地観光・コンテンツの提案など、誘致・受入にかかる課題の共有や解決に向けて、官民一体となった取組を引き続き推進する。 沖縄へのクルーズ観光の重要性を浸透させるため、クルーズカンファレンスの継続的な開催、クルーズ船寄港による経済効果の測定方法について検討していく。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)



資金の 使途の 流れ・ 費目・ 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
資金の 使途の 流れ・ 費目・ 評価	○	支出先の選定方法は妥当か。	○本事業は観光関係業界等と連携を図り官民一体となってクルーズ船の誘致・受入れの取組を行うものであるため、公的性質を持ち、かつ、県の観光施策及び全県的な観光に関する情報を十分に把握している唯一の団体であるOCVBへの委託は妥当であった。 ○コロナ後を見据えたこれまでの継続した取組の結果、国際クルーズの寄港再開、今後の沖縄クルーズの回復・発展に向けて船社等との関係を構築できた。 ○費目・使途については委託料の確定時において支出等に関する書類により確認しており、適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

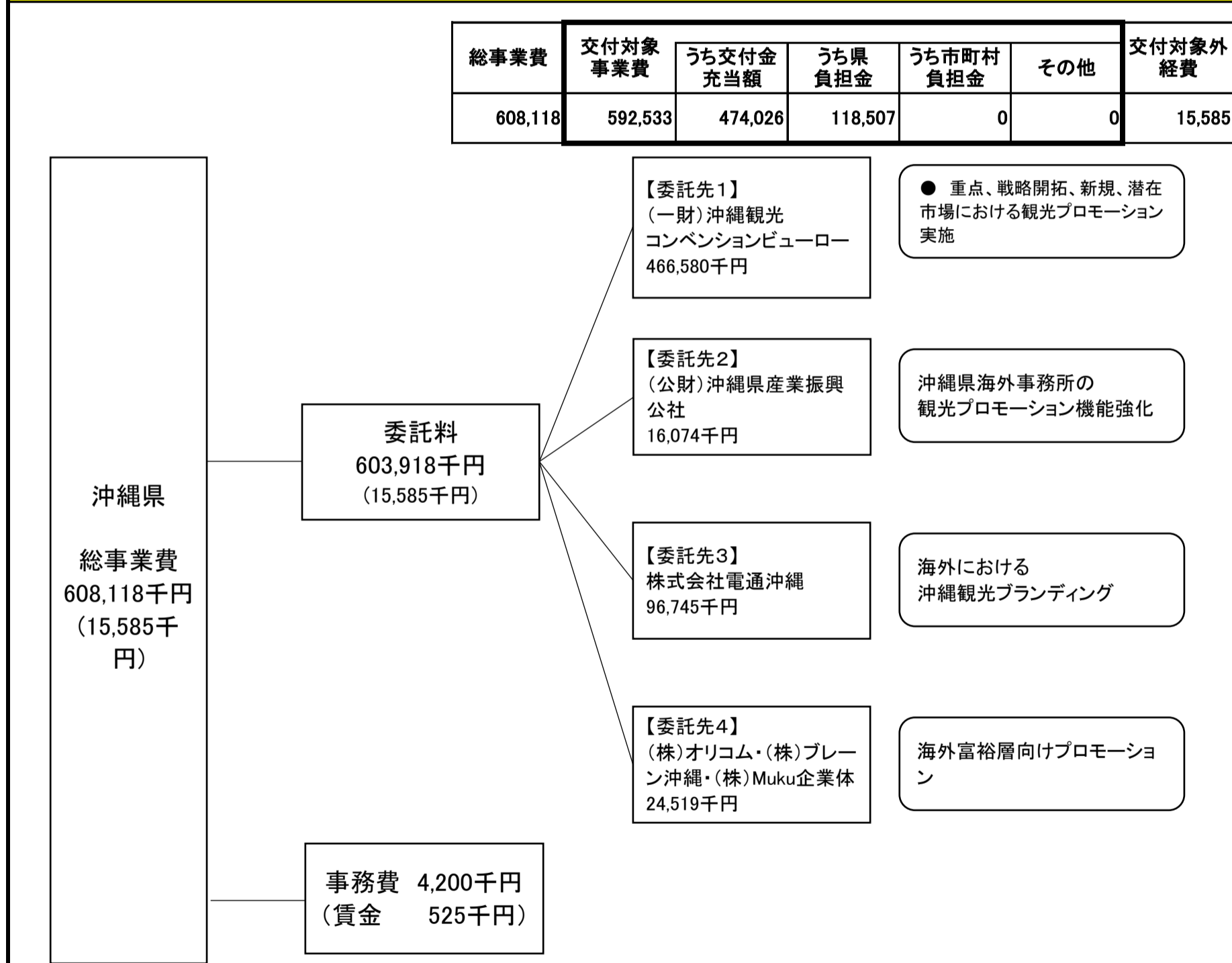
令和5年度沖縄振興特別推進交付金事業（県分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	146	沖縄観光グローバル事業	新沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所 (第4章)	3-(2)-ウ-②			
担当部課名	文化観光スポーツ部 観光振興課	事業実施 (予定)年度	H24~R13 年度	沖縄振興基本方針 該当箇所			
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ● 海外からの新規路線就航及び既存路線の復便を図るため、航空会社商談会への出展やキーパーソン招聘等を行う。 ● 海外からの直行定期便の新規就航を促すため、インセンティブとしてチャーター便の催行や地上ハンドリングに必要な費用を支援する。 ● 海外からの直行定期便の新規就航を促すため、インセンティブとして新規定期便の就航初期の路線の安定化に必要な支援を行う。 ● 海外からの既存路線の復便を図るため、インセンティブとして運航再開時の地上ハンドリング費用等を支援する。 ● 各市場から外国人観光客を誘客するため、海外旅行博に出展、航空会社や旅行会社と連携プロモーションを実施する。 ● 外国人観光客を誘客するため、沖縄観光ブランドの動画制作及び配信を行う。 ● 外国人観光客を誘客するため、WEBやSNSにて沖縄観光情報を多言語で発信する。 ● 外国人観光客を誘客するため、那覇空港の国際旅客ハブ化に向けて経路便等を活用した誘客活動を航空会社等と連携して行う。 ● 海外富裕層の沖縄誘客増加を図るため、富裕層旅行会社の招聘や情報媒体への広告出稿、海外富裕層商談会への出展を行う。 						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】		R3年度	R3年度(繰越)	R4年度	R4年度(繰越)	R5年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	498,626		333,912		643,185
		(b) 予算現額	417,190		383,955		643,185
		(c) 増減額(b-a)	▲ 81,436	0	50,043	0	0
		(d) 前年度繰越額	0		0		
		A. 計(b+d)	417,190	0	383,955	0	643,185
	B. 執行済額		403,286		373,799		608,118
	うち交付金充当額		322,629		299,039		474,026
	C. 次年度繰越額				0	0	0
	執行率(%) (B/A)		96.7%		97.4%		94.5%
予算の状況の説明		委託事業者の一つで、採用を計画していた嘱託職員の採用計画が人材不足の影響で予定どおり進まず、年間を通じて2~3名の欠員が生じ、職員定数に基づき執行を予定していた事業執行計画が一部執行できなかったが、概ね計画的な執行が達成された。					
活動目標 (指標) 及び進捗状況	R5活動目標(指標)		進捗状況				
			R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	
	① 海外路線誘致活動強化事業 ● 航空会社との面談・交渉回数	目標	—	—	5件	5件	
		実績	5件	9件	15件	15件	
	② 国際チャーター便包括支援事業 ● チャーター便催行支援便数(便数) ● チャーター地上ハンドリング支援(便数)	目標	3便・3便	3便・3便	1便・1便	2便・2便	
		実績	0便・0便	0便・0便	0便・0便	2便・2便	
	③ 定期便就航促進・活性化支援事業 ● 新規定期便就航支援(路線数) ● 新規定期便地上ハンドリング支援(路線数)	目標	1路線	1路線	1路線	2件・2件	
		実績	0路線	0路線	0路線	1件・1件	
	④ 沖縄国際航空路線リバイバル事業 ● 運航再開時支援(件数) ● 地上ハンドリング支援(件数)	目標	—	—	10件	2件・2件	
		実績	—	—	23件	未実施	
	⑤ 海外潜在市場活性化事業 ● プロモーションの実施	目標	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	
		実績	0箇所	0箇所	0箇所	0箇所	
	⑥ 海外新規市場開拓事業 ● プロモーション実施箇所数	目標	14箇所	14箇所	8箇所	7箇所	
		実績	8箇所	14箇所	8箇所	11箇所	
⑦ 海外重点市場誘致強化事業 ● プロモーション実施箇所数	目標	14箇所	14箇所	6箇所	6箇所		
	実績	12箇所	6箇所	7箇所	7箇所		

活動目標 (指標) 及び進捗状況	⑧ 沖縄観光ブランド戦略推進事業 ● ブランディングの展開地域	目標	SNS発信10地域	SNS発信10地域	14か国・地域	14か国・地域	
		実績	13地域	17地域	28か国・地域	5か国	
	⑨ 海外コンテンツマーケティング事業 ● サイトアクセス数、SNSアクセス数	目標	サイトアクセス数: 4,892,000件 SNSアクセス数: 1,322,000件	サイトアクセス数: 4,892,000件 SNSアクセス数: 1,871,000件	サイトアクセス数: 4,892,000件 SNSアクセス数: 1,871,000件	サイトアクセス数: 4,892,000件 SNSアクセス数: 1,871,000件	
		実績	サイトアクセス数: 1,039,317件 SNSアクセス数: 1,309,928件	サイトアクセス数: 1,239,869件 SNSアクセス数: 1,160,818件	サイトアクセス数: 1,911,136件 SNSアクセス数: 1,575,601件	サイトアクセス数: 2,801,891件 SNSアクセス数: 5,756,522件	
	⑩ 沖縄国際観光イノベーション事業 ● キックオフプロジェクトの実施 ● 航空会社連携プロモーションの実施	目標	連携プロモーションの実施	連携プロモーションの実施	連携プロモーションの実施	キックオフプロジェクト1カ所	
		実績	2社	2社	未実施	未実施	
	⑪ 海外富裕層向けプロモーション事業 ● 海外富裕層旅行会社の招聘実施 ● 海外富裕層商談会への出展	目標	1件/1回	1件/1回	1件/1回	1件/1回	
		実績	1件/1回	2件/2回	2件/1回	2件/1回	
	進捗状況説明	<ul style="list-style-type: none"> ● 海外路線誘致活動強化、国際チャーター便包括支援、定期便就航促進・活性化支援の各事業の実施により新規路線誘致を達成した(春秋航空 上海-那覇路線)。 ● 沖縄国際航空路線リバイバル事業については、別途県費による令和4年度から復便支援事業を繰り越したことから、今年度は未実施(令和5年度をもって終了)。 ● 市場別プロモーションについては、限られた予算の中での選択と集中の観点から潜在市場でのプロモーションは見送ったが、その他の市場では目標以上を実施した。 					
	成果目標 (指標) 及び達成状況	R5成果目標(指標)		基準値 (R2年度)	R3年度	R4年度	R5年度
● 新規路線就航数 ① 海外路線誘致活動強化事業 ② 国際チャーター便包括支援事業 ③ 定期便就航促進・活性化支援事業		目標	—	1路線	1路線	1路線	2路線
		実績	—	0路線	1路線	1路線	—
● 運航が再開した路線・復便数 ④ 沖縄国際航空路線リバイバル事業		目標	—	—	4路線	2路線	4路線
		実績	—	—	3路線・10社	7路線・7社	—
● 潜在市場(インド、中東、北欧)からの観光客の延人泊数 ⑤ 海外潜在市場活性化事業		目標	—	100人	3,900人	12,480人	400人
		実績	—	0人	0人	200人	—
● 戦略開拓市場(シンガポール、タイ、マレーシア等東南アジア)及び新規市場(欧米豪)からの観光客の延人泊数 ⑥ 海外新規市場開拓事業		目標	—	29万人	3.9万人	7.5万人	9.5万人
		実績	—	0万人	2.4万人	5.1万人	—
● 重点市場(台湾、韓国、中国、香港)からの観光客数 ⑦ 海外重点市場誘致強化事業		目標	—	171万人	25.6万人	50万人	100万人
		実績	—	0万人	17.6万人	79.8万人	—
⑧ 沖縄観光ブランド戦略推進事業 ● ブランド動画再生回数		目標	—	400万回	400万回・3,500回	400万回	400万回
		実績	—	2,024万回	2,076万回・7,705回	952万回	—
⑨ 海外コンテンツマーケティング事業 ⑩ 沖縄国際観光イノベーション事業 ● 外国人観光客数(空路+海路)		目標	—	400万人	30万人	60万人	160万人
		実績	—	0人	20.1万人	126.4万人	—
⑩-2 沖縄国際観光イノベーション事業 (2)沖縄国際旅客ハブ形成促進事業 ・連携プロモーションによる観光客数 100人		目標	—	330人	100人	100人	—
	実績	—	0人	未実施	未実施	—	
⑪ 海外富裕層向けプロモーション事業 ● 沖縄への富裕層の送客を取り扱う旅行社 2社	目標	—	2社	2社	2社	2社	
	実績	—	2社	2社	2社	—	
達成状況説明	<ul style="list-style-type: none"> ● 那覇空港国際線は令和5年度3月31日時点で、台北、高雄、ソウル、釜山、北京、上海、香港、シンガポール、クアラルンプールの、9路線17社160路線まで回復した。 ● 国際線の路線回復により、令和5年度の外国客は126万3500人となり、前年度から106万3400人増、平成30年度比で42%の水準まで回復した。 						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<ul style="list-style-type: none"> ● 外国人観光客の訪日旅行需要が旺盛となっている。 ● 県内空港のハンドリング及び保安検査員の人手不足が深刻であるとともに、観光・宿泊施設の受入状況を踏まえ、慎重に誘客する必要がある。 ● 国内観光地でインバウンド誘致の競争が激しくしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 空港の受入体制構築に向けて他部局と連携して取り組み、那覇空港、新石垣空港及び下地島空港の路線回復に引き続き取り組む。 ● 沖縄へのインバウンド誘客を強化するため、県内事業者とともに海外旅行博や商談会等への共同出展を推進する。 ● 沖縄観光の質の向上(滞在日数延伸及び消費単価額向上)に向け、各市場の特性に応じた体験型観光を効果的に訴求する必要がある。 ● 各国各地域の海外航空会社が沖縄路線の開設に関心を示している。
今後の取り組み方針		
<ul style="list-style-type: none"> ● 空港の受入体制の整備に向けて他部局と連携して取り組み、市場プロモーションと連動して旅客需要を創出し、那覇空港、新石垣空港及び下地島空港の路線回復を図る。 ● 海外の旅行会社、メディア、インフルエンサー等を招聘し、沖縄本島や離島で食、スポーツ、ウェルネス、地域生活等の体験型観光を訴求する。 ● 旅行博や商談会への出展にあたり、県内事業者と共同出展し、官民一体の誘客体制でさらなる沖縄への誘客に努める。 ● 県内の受入体制を考慮しながら、新規路線誘致への取組を継続する。 		

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

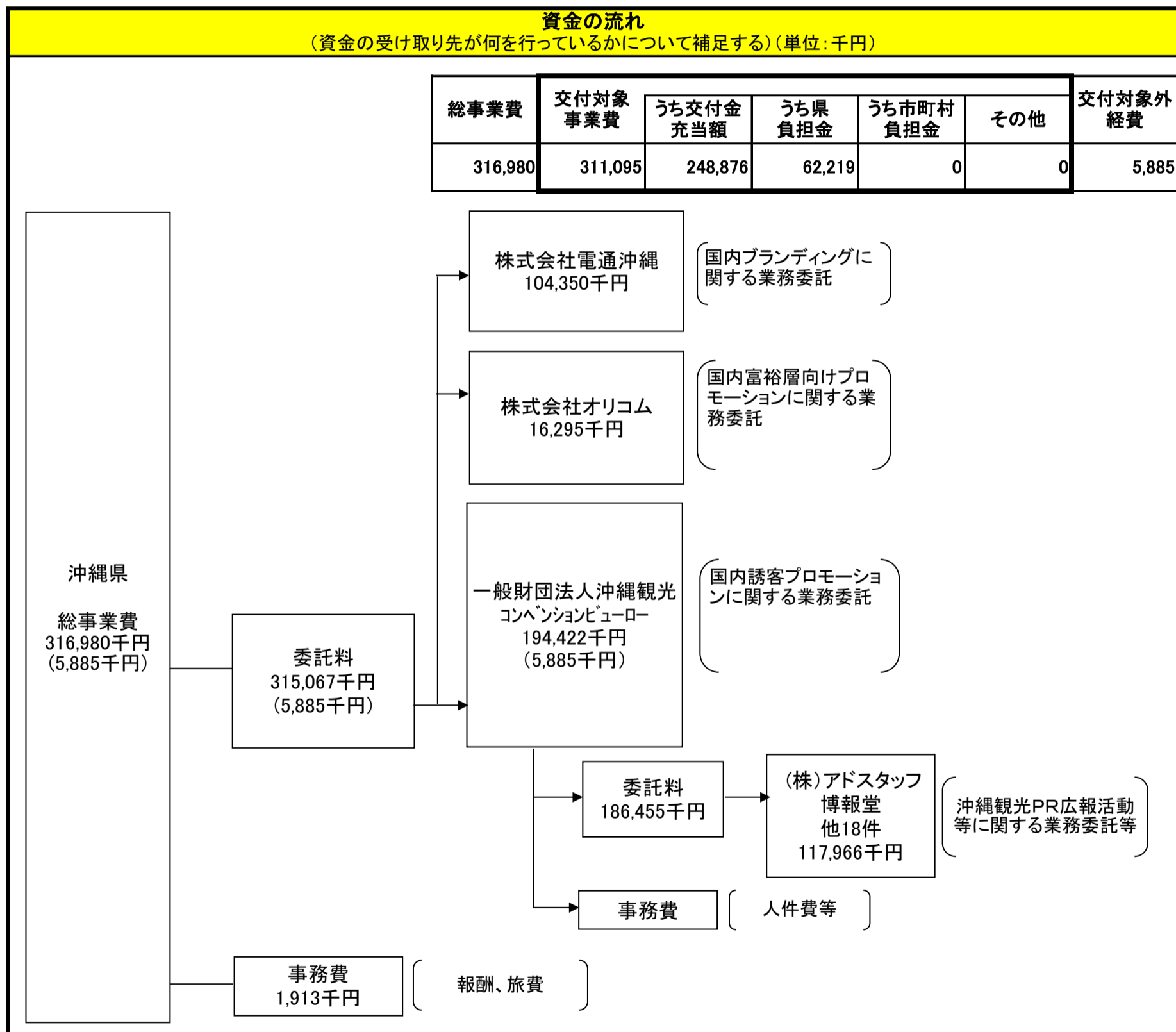


資金の流れ、費目・用途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	<ul style="list-style-type: none"> ● 観光関係業界等と連携を図り官民一体となって外国人観光客の誘致・受入の取り組みをしていくため、公的性質を持ち、県の観光施策及び全県的な観光情報を網羅的に把握している唯一の団体であるOCVBとの随意契約は妥当であった。 ● 事業内容に応じて企画提案選定を実施し、事業の効果的な執行に向けて適切な評者を選定した。 ● 事業の活動及び成果目標を達成し、適切な予算規模だった。 ● 費目・用途については委託料の確定時において支出等に関する書類により確認し、適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

令和5年度沖縄振興特別推進交付金事業（県分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	147	国内需要安定化事業	沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	3-(2)-ウ-②			
担当部課名	文化観光スポーツ部観光振興課	事業実施 (予定)年度	H24 ~ R13 年度	沖縄振興基本方針 該当箇所	Ⅲ-3-(2)		
事業内容	国内からの観光客誘致の安定的な基盤を形成するため、各種プロモーションの展開、沖縄未経験者層の新規需要開拓等を実施。また、Be.Okinawaの周知を図り、富裕層に特化した誘客活動を実施。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他 ()						
予算額・執行額 【単位：千円】		R3年度	R3年度(繰越)	R4年度	R4年度(繰越)	R5年度	
	予算 の 状 況	(a) 当初予算額	398,462		351,722		322,434
		(b) 予算現額	422,662		351,722		322,434
		(c) 増減額(b-a)	24,200	0	0	0	0
		(d) 前年度繰越額	0		0		0
		A. 計(b+d)	422,662	0	351,722	0	322,434
	B. 執行済額		405,292		350,122		316,980
	うち交付金充当額		324,233		280,098		248,876
	C. 次年度繰越額		0		0	0	0
	執行率(%) (B/A)		95.9%	#DIV/0!	99.5%	#DIV/0!	98.3%
予算の状況の説明		<ul style="list-style-type: none"> 国内観光客の確保を図るための各種プロモーション等に要する経費として増額補正を行った。 執行率は98.3%であり、概ね計画的に執行できた。 					
活動目標 (指標) 及び進捗状況	R5活動目標(指標)		進捗状況				
			R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	
	各種連携プロモーション		目標	8機関	20件	20件	20件
			実績	10機関	29件	22件	26件
進捗 状 況 説 明	連携プロモーション件数は目標を上回っている。						
成果目標 (指標) 及び達成状況	R3成果目標(指標)		基準値 (〇〇年度)	R3年度	R4年度	R5年度	目標値 (〇〇年度)
			目標	800万人	800万人	800万人	
	入域観光客数(国内)		実績	327万4千300人	677万4千600人	728万9千100人	
	達成 状 況 説 明	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標である国内入域観光客数(800万人)は、実績が726万9千人で、目標値を下回ったとは言え、国内の需要が回復傾向にあり、徐々に航空路線の復便もみられ、着実に国内入域観光客数の増加につながった。 次年度以降の更なる国内入域観光客数の回復を図るため、各種プロモーション活動を実施し、旅行需要の維持に努めた。 					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<ul style="list-style-type: none"> ・航空会社の経営状況等により、地方路線を中心に提供座席数の変動などの影響を受けていた。 ・新型コロナウイルス感染症拡大の影響による減便や運休が発生している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・旅行需要が急速に回復している状況なので、直行便がある地域を中心に、積極的に現地のイベントへ出展したり、webを用いたプロモーションを展開し、更なる誘客プロモーションを実施する。 ・ブランディング及び富裕層市場に特化したプロモーションに重点をおき、沖縄観光の「量」から「質」への変容を想定した対応を行う。
今後の取り組み方針		
<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き航空会社及び直行便就航地を中心とした地方空港等と連携した誘客プロモーションを強化し、旅行需要回復期における効果的な誘客プロモーションを実施する。 ・沖縄観光のブランド化に向けた取組を戦略的に実施するほか、富裕層に訴求するプロモーションを継続する。 		



資金の流れ、費目・用途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○本事業は観光関係業界等と連携を図り官民一体となって国内観光客の誘致の取組をしていくものであるため、公的性質を持ち、かつ、県の観光施策及び全県的な観光に関する情報を十分に把握している唯一の団体であるOCVBへの委託は妥当であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○入域観光客数の成果目標は達成できなかったが、令和5年度の国内観光客数は過去最高を記録するなど目標達成に近づいている。活動指標は当初目標を達成しており、適正な予算規模であった。
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	○費目・用途については委託料の確定時において支出等に関する書類により確認しており、適正であった。
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○費目・用途については委託料の確定時において支出等に関する書類により確認しており、適正であった。

令和5年度沖縄振興特別推進交付金事業（県分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	149	フィルムツーリズム推進事業	新沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所（第4章）	3-(2)-ウ-①			
担当部課名	文化観光スポーツ部 観光振興課	事業実施（予定）年度	H25～R13 年度	沖縄のソフトパワーを生かしたツーリズムの推進			
事業内容	①沖縄の自然や文化、伝統、物産等を活用した映像コンテンツを通して観光誘客を図るため、沖縄ロケを実施する映画・ドラマの誘致を行うとともに、スムーズなロケ撮影のためのワンストップサービスを提供する。 ②沖縄国際映画祭を通して観光誘客を図るため、映画祭の開催期間中におけるシャトルバス運行や海外メディア招聘等の支援を行うほか、国内外の旅行博や沖縄関連イベントにおいて、沖縄国際映画祭のPR及び沖縄観光プロモーションを実施する。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度（ 年度）						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他（ ）						
予算額・執行額【単位：千円】		R3年度	R3年度（繰越）	R4年度	R4年度（繰越）	R5年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	76,428		63,847		64,644
		(b) 予算現額	76,428		63,847		64,644
		(c) 増減額(b-a)	0	0	0	0	0
		(d) 前年度繰越額					
		A. 計(b+d)	76,428	0	63,847	0	64,644
	B. 執行済額		70,335		63,290		63,545
	うち交付金充当額		56,268		50,632		46,040
	C. 次年度繰越額				0	0	0
	執行率(%) (B/A)		92.0%		99.1%		98.3%
予算の状況の説明		執行率は98.3%であり、概ね適正に執行できた。					
活動目標（指標）及び進捗状況	R5活動目標（指標）		進捗状況				
			R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	
	①映画祭等への出展	目標	10箇所	10箇所	3箇所	3箇所	
		実績	5箇所	8箇所	4箇所	9箇所	
	②沖縄ロケ作品の支援件数	目標	20件	20件	30件	20件	
		実績	15件	12件	27件	37件	
	③国内外マーケット出展件数	目標	—	—	2回	2回	
実績		—	—	2回	4回		
進捗状況説明	①国内外の映画祭等へ出展（香港、東京の現地参加、オンラインを含む）し、これまでの支援作品の紹介等をおこない、ロケ誘致を図った。また、全ての出展において商談を実施し、映像制作関係者とコネクション強化に努めた。 ②本年度については、37件のロケ支援をおこなった。（内訳：国内34件、海外3件） ③ロケ地としての沖縄の魅力を国内外に発信し、ロケ地誘致及び県産コンテンツの海外セールスの推進に取り組んだ。						
成果目標（指標）及び達成状況	R5成果目標（指標）		基準値（〇〇年度）	R3年度	R4年度	R5年度	目標値（〇〇年度）
	①フィルムツーリズム推進事業 映画祭等出展時の商談件数	目標		—	100件	100件	
		実績		—	57件	72件	
	②フィルムツーリズム推進事業 TVや映画をきっかけとした来沖者数30万人	目標			30万人	30万人	
		実績			30万人	30.4万人	
	③沖縄国際映画祭関連事業 イベント参加人数1,000人	目標			1,000人	1,000人	
		実績			1,570人	4,880人	
達成状況説明	①目標100件に対し、実績72件となり目標値を下回った。特にオンライン出展の際は、アポイントの取りづらさやダイレクトなプロモーションが難しい等の理由から商談実績が少ないものとなった。 ②目標値の30万人に対して目標を達成することができた。 ③目標1,000人に対して4,880人と目標を達成することができた。						

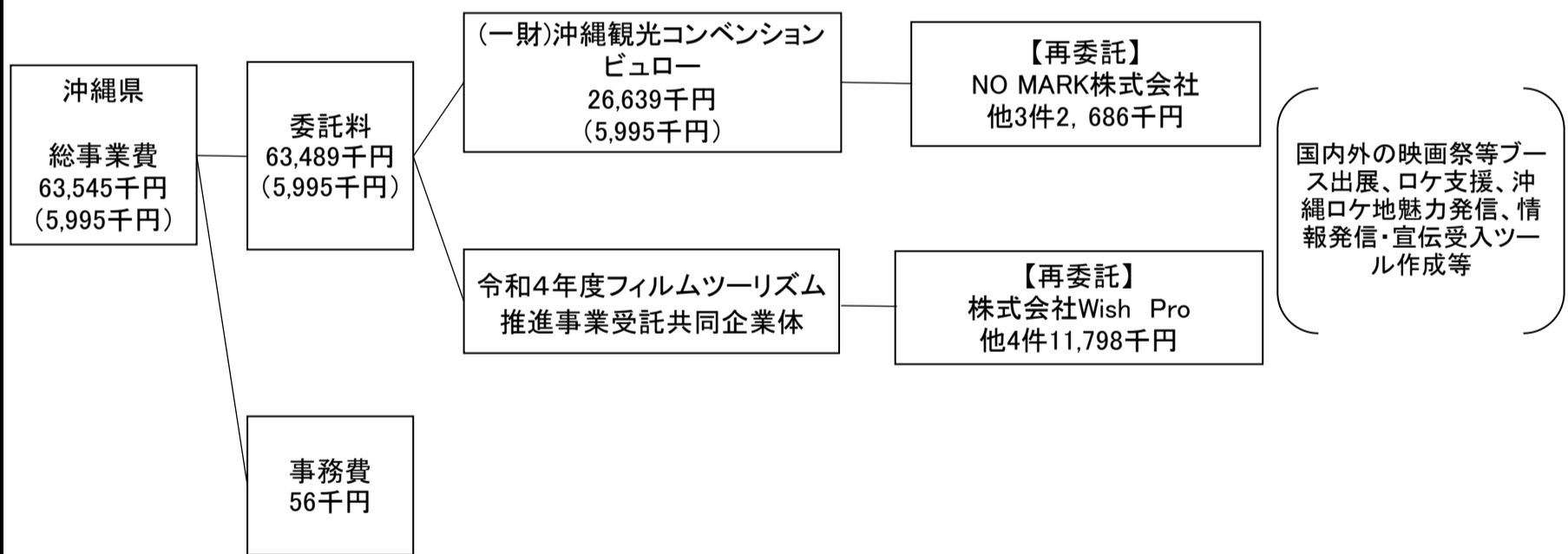
	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	<p>①新型コロナウイルス感染症の影響によりオンラインを含むハイブリッド型の映画祭・展示会が増えたことから、商談時のマッチング成功率を上げる工夫をする必要がある。</p> <p>②離島を含む県内各地で映画・ドラマ等の制作が行われているが、一部、無許可でのロケや私有地への無断侵入等、県民が撮影による弊害を目撃しているという調査結果が出た。持続可能な観光を推進するため、対策を検討する必要がある。</p> <p>③新型コロナウイルス感染症によりイベント開催等の実施や規模が大きく落ち込んだことから、安心・安全なイベント作りに取り組み、実施回数・規模の回復を図る必要がある。</p>	<p>①オンライン実施の際は、商談の日時や回数を含めたタイミングの回数を増やしていく。また、可能な限り現地参加をする。</p> <p>②ロケに関しては、あらかじめロケハンの講習会やセミナー等を開き、担当者を含めて情報を共有する。また、受入の際は申請先にも情報を共有、担当者の現地入りを行い、県民の弊害リスクを激減させる。</p> <p>③イベント開催のガイドライン等を徹底し、安全・安心で参加しやすいイベントづくりを行う。次第に増加する観光客数を想定し、受入体制の強化を図る。</p>

今後の取り組み方針

- ①新型コロナウイルス感染症の影響を受け減少した国内外のマーケット出展、イベントの開催の取組を強化し、観光地及びロケ地としての沖縄の魅力を発信する。
- ②引き続き、令和3年度に定めたロケ撮影により発生する弊害に対するガイドラインを広く、周知、啓発する取組を実施する。
また、新型コロナウイルス感染症の影響により、ロケの件数が減少しているため、既存の沖縄ロケ作品を活用したプロモーションも展開する。
- ③イベントは現地開催のみならず、当日及び後日見られる配信等も含めて実施する。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	うち交付金充当額	うち県負担金	うち市町村負担金	その他	交付対象外経費
63,545	57,550	46,040	11,510	0	0	5,995



資金の 使途の 流れ、 費目 ・ 点検 評価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○本事業は、随意契約により業者を選定している。対象の業者が実施する補助事業は、県の施策を補完的に実施しており、補助事業の内容を鑑みても公益性が高いことから、受託事業が適切である。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○事業内容に見合う適切な予算規模であった。
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	○費目・使途については、事業期間中及び完了時に証憑等の関係書類を検査し、適正であった。
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

令和5年度沖縄振興特別推進交付金事業（県分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	150	カップルアニバーサリーツアーリズム事業	新沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所 (第4章)	3-(2)-ウ-②			
担当部課名	文化観光スポーツ部 観光振興課	事業実施 (予定)年度	H28～R13 年度	沖縄振興基本方針 該当箇所	Ⅲ-1-(1)		
事業内容	リゾートウェディング挙式組数の増加を図るため、カップルアニバーサリーツアーを沖縄観光ブランドの一つと位置づけ、国内外に向けてプロモーションを実施する。 1.ブランディングブランドイメージ(動画、静止画等)の制作・発信 2.国内プロモーション フェア等の開催、プロモーション 3.海外プロモーション フェアの開催、プロモーション 4.情報発信 WEBサイト等を活用した情報発信 5.受入体制強化 県内事業者・関係機関との意見交換・情報共有等						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他 ()						
予算額・執行額 【単位:千円】		R3年度	R3年度(繰越)	R4年度	R4年度(繰越)	R5年度	
	予算 の 状 況	(a) 当初予算額	49,365		39,500		35,550
		(b) 予算現額	49,365		39,500		35,550
		(c) 増減額(b-a)	0	0	0	0	0
		(d) 前年度繰越額					
		A. 計(b+d)	49,365	0	39,500	0	35,550
	B. 執行済額		48,981		39,360		32,486
	うち交付金充当額		39,185		31,488		25,989
	C. 次年度繰越額				0	0	0
	執行率(%) (B/A)		99.2%		99.6%		91.4%
予算の状況の説明		執行率は91.4%であり、概ね計画的に執行できた。					
活動目標 (指標) 及び進捗状況	R5活動目標(指標)		進捗状況				
			R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	
	国内フェア・海外フェア等におけるプロモーション回数		目標	4回	8回	6回	6回
		実績	9回	10回	8回	8回	
進捗状況説明	国内フェア・海外フェア等におけるプロモーション回数について、目標値6回に対して、実績8回と目標を上回った。						
成果目標 (指標) 及び達成状況	R5成果目標(指標)		基準値 (〇〇年度)	R3年度	R4年度	R5年度	目標値 (〇〇年度)
			目標		14,000組	11,000組	17,800組
	リゾートウェディング実施組数		実績		12,540組	18,430組	22,095組
	達成状況説明	令和5年(暦年)の総実施組数は、新型コロナウイルス感染症に関する行動制限が徐々に緩和され、国内のみならず海外からのウェディング実施が増え、過去最多の22,095組(対前年比120%)となり、目標を大きく上回る結果となった。					

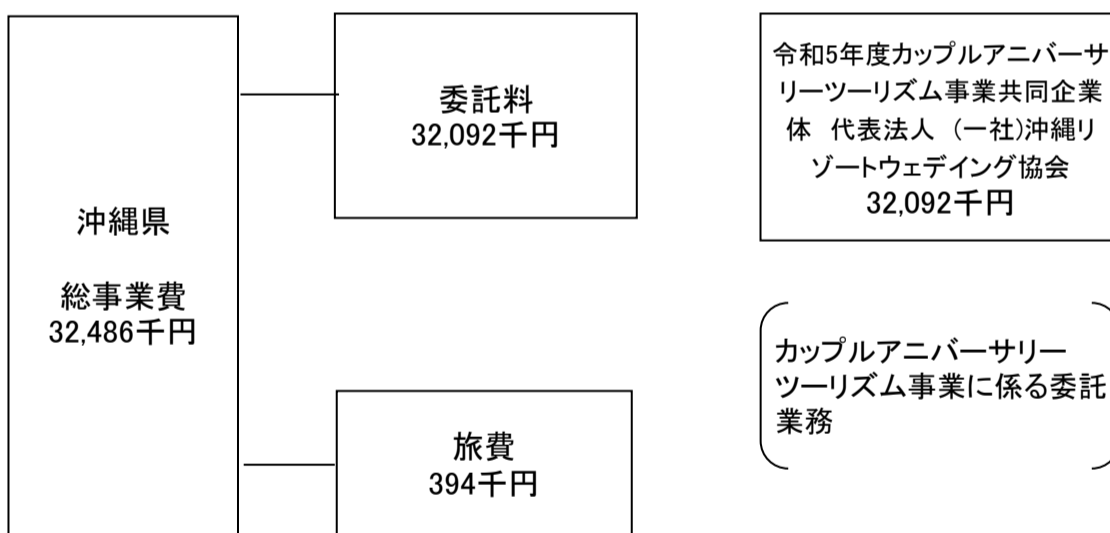
	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	①国内市場において、少子化や経済的な理由から結婚式をしない層、結婚式に意義を見いだせない「ナシ婚」層が一定程度いる。 ②沖縄リゾートウェディングの統計調査(沖縄県観光振興課実施)の結果から、単価の高い商品(チャペルウェディング)から手の届きやすい価格帯の商品(フォトウェディング)を選択するカップルが増えている。 ③国内・海外市場ともに、顧客ニーズが多様化する傾向にある。	①国内外の市場において、沖縄でしか体験できないリゾートウェディングの価値の向上・浸透を図る取組が必要である。 ②国内外の市場において、高付加価値商品に重点を置いたプロモーションやハネムーンを兼ねた沖縄リゾートウェディングの魅力を発信することにより、需要の取り込みを図る必要がある。 ③多様なニーズや実施数の伸びに対応するため、人材確保及び育成を図る必要がある。

今後の取り組み方針

- ①沖縄リゾートウェディングの価値の向上・浸透を図るため、沖縄リゾートウェディングのブランディングとして、イメージを訴求するツールを制作し、WEB・SNSもしくはイベント等を活用し、イメージの定着を図る。
- ②感染症や円安等の影響から、当面は海外渡航に慎重になることが想定されるため、国内及びアジア市場(台湾・香港)の海外意向層向けに高付加価値商品等に重点を置いたプロモーションを実施し、需要の取込を図る。
- ③多様なニーズに対応しうる人材育成のため、事業者向けの研修等を実施し、受入体制の強化を図る。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	うち交付金充当額				交付対象外経費
		うち交付金充当額	うち県負担金	うち市町村負担金	その他	
32,486	32,486	25,989	6,497	0	0	0



資金の 使途の 流れ、 費目 ・ 評価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
資金の 使途の 流れ、 費目 ・ 評価	○	支出先の選定方法は妥当か。	○本事業は、予算の範囲内でより効果的な事業を実施するため、事業者から広く企画提案書を募集し、文化観光スポーツ部内に設置する企画提案選定委員会(委員長:観光政策統括監)で提案内容を審議し、優れた企画を行った事業者を選定した。 ○費目・使途については委託料の検査時において支出等に関する書類により確認しており、適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

令和5年度沖縄振興特別推進交付金事業（県分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	151	教育旅行推進強化事業	新沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所 (第4章)	3-(2)-ウ-②			
担当部課名	文化観光スポーツ部	観光振興課	事業実施 (予定)年度	H25~R13	年度	沖縄振興基本方針 該当箇所	
事業内容	沖縄への修学旅行を安定的に確保するため、沖縄修学旅行プロモーションの実施や実施予定校に対する事前・事後学習支援、商品造成の支援等を行う。また実施時期分散化など受入体制整備に向けた取組を実施する。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】		R3年度	R3年度(繰越)	R4年度	R4年度(繰越)	R5年度	
	予算 の 状 況	(a) 当初予算額	78,393		78,393		102,590
		(b) 予算現額	155,581		78,393		102,590
		(c) 増減額(b-a)	77,188	0	0	0	0
		(d) 前年度繰越額	0		0		
		A. 計(b+d)	155,581	0	78,393	0	102,590
	B. 執行済額		69,995		77,241		100,276
	うち交付金充当額		55,995		61,739		72,338
	C. 次年度繰越額		0		0	0	0
	執行率(%) (B/A)		45.0%		98.5%		97.7%
予算の状況の説明		・新型コロナウイルス感染症が明けて、今年度は8月と12月の修学旅行相談会を開催したところ多くの参加があったこともあり、執行率は97.7%と概ね計画的に執行を行うことができた。					
活動目標 (指標) 及び進捗状況	R5活動目標(指標)		進捗状況				
			R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	
	プロモーション実施	目標	3回	6回	6回	5回	
		実績	3回	4回	7回	10回	
	修学旅行模擬体験	目標		14件	14件	15件	
		実績		19件	10件	6件	
進捗状況説明	・プロモーションについては、新型コロナウイルス感染症が明けて、今年度は県外での説明会やキャラバン訪問、モニターツアー等を活用したプロモーションを積極的に行ったこともあり、目標値を達成した。 ・修学旅行模擬体験については、昨年度までの新型コロナウイルス感染症の影響等もあって件数が落ちていたこともあり、事業認知が不足していたこともあり目標を達成できなかった。						
成果目標 (指標) 及び達成状況	R5成果目標(指標)		基準値 (〇〇年度)	R3年度	R4年度	R5年度	目標値 (〇〇年度)
	プロモーション参加人数	目標			300人	300人	
		実績			412人	564人	
	修学旅行模擬体験提供	目標			28人以上	30人以上	
		実績			27人	15人	
	達成状況説明	・プロモーションについては、新型コロナウイルス感染症が明けて、今年度は県外での説明会やキャラバン訪問、モニターツアー等を活用したプロモーションを積極的に行ったこともあり、目標値を達成した。 ・修学旅行模擬体験については、昨年度までの新型コロナウイルス感染症の影響等もあって件数が落ちていたこともあり、事業認知が不足していたこともあり目標を達成できなかった。					

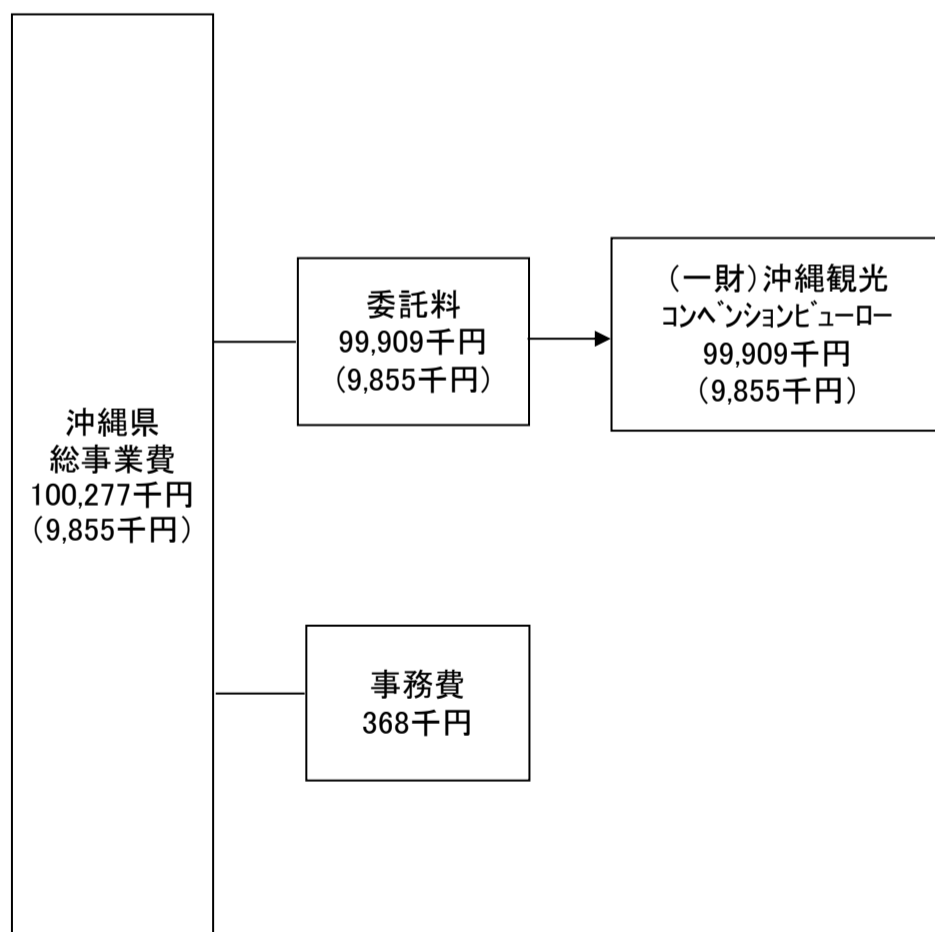
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<ul style="list-style-type: none"> ・少子化の影響で、国内の小中高校数および生徒数は、減少傾向にあるため、修学旅行の需要自体も減少傾向にある。また、新幹線の新規開業などにより、国内ほか地域との競合が激化している。 ・修学旅行におけるキャリア教育実施のニーズは高いが、県内で実施しているプログラムが少ない等、受入体制が整っていない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・国内市場の減少が見込まれる状況において、国内修学旅行需要を継続的かつ安定的に確保していくため、効果的なプロモーション活動や、学校のニーズに即した教育プログラムの造成等を実施する必要がある。 ・海外や国内他地域から行き先を変更する学校に対して、沖縄への需要の取り込みを図る必要がある。

今後の取り組み方針

- ・より効果的なプロモーションを実施するため、プロモーションの開催エリア及び手法等の見直しを図る。また、修学旅行における商品のニーズや修学旅行受入にあたり障壁となり得る各種課題について調査・分析を行うことで、受入体制の強化を図る。
- ・事前・事後学習の提供プログラムの拡充や模擬体験提供を通して、海外や国内他地域からの行き先の変更需要に対応し、新規実施校の獲得を図る。
- ・海外教育旅行の受入体制整備の強化を図る。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	うち交付金充当額	うち県負担金	うち市町村負担金	その他	交付対象外経費
100,277	90,422	72,338	18,084	0	0	9,855



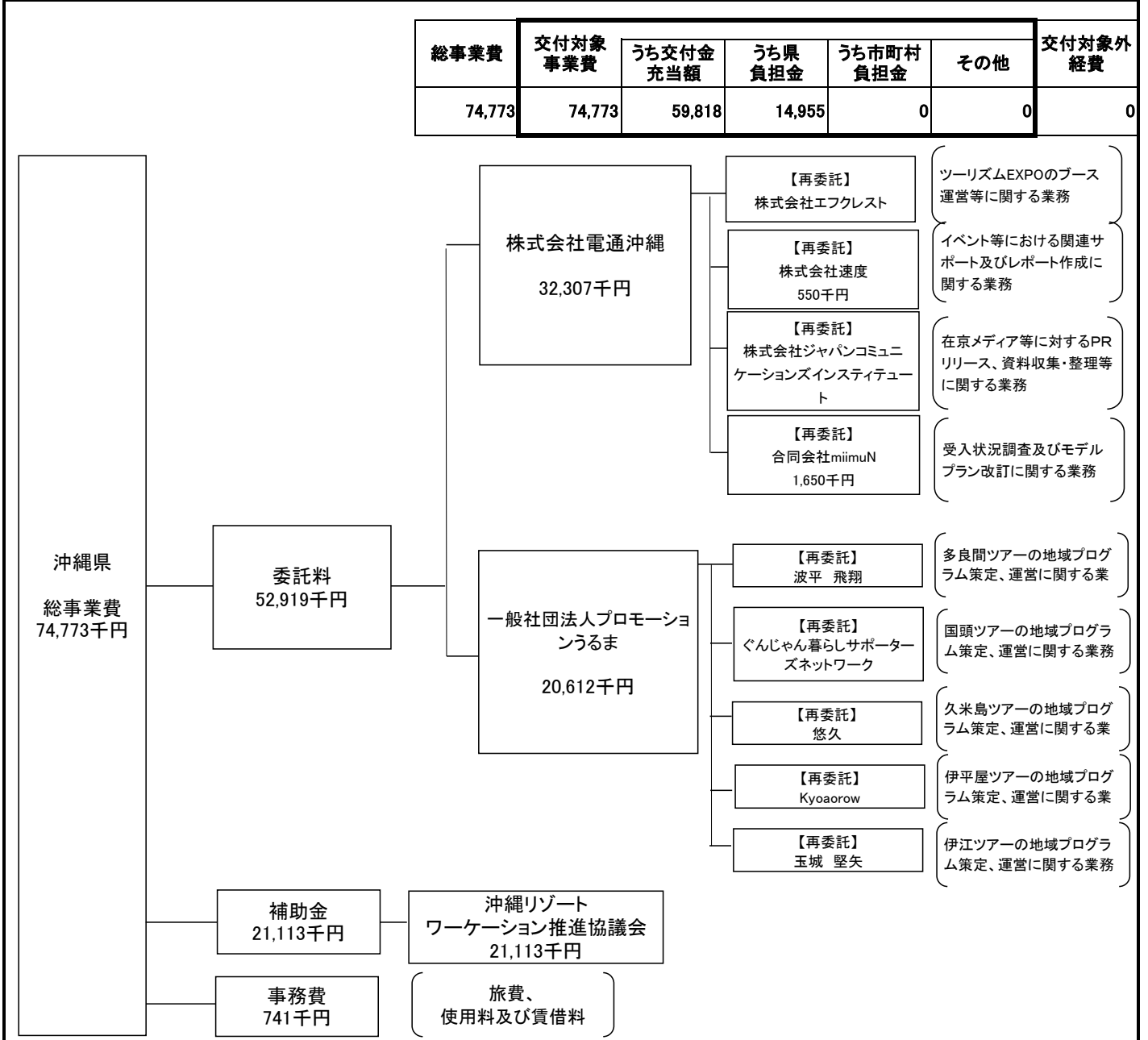
資金の流 れ、費目 ・ 用途の 点検 評価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○当事業の執行にあたっては、県内外の観光関係者に公的性格及び中立的な性格を有すると認識され、かつ、総合的な対応窓口としての機能を有する必要があるが、(一財)沖縄観光コンベンションビューローはその要件に該当し、適当である。 ○予算規模、費目・使途については、額の確定時において、事業目的達成のための必要性等を支出に関する書類等により確認し、適正と判断した。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	－	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

令和5年度沖縄振興特別推進交付金事業（県分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	153	ワーケーション促進事業	沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	3-(2)-ウ-② 3-(2)-エ-②			
担当部課名	文化観光スポーツ部観光振興課 企画部地域・離島課	事業実施 (予定)年度	R02 ~ R13 年度	沖縄振興基本方針 該当箇所			
事業内容	国内観光客の増加、滞在日数の延伸及び来訪時期の平準化を図ることを目的に、県外企業等向けに「新しい生活様式」を踏まえた沖縄ワーケーションを促進するプロモーションを行うとともに、ワーケーション目的で来島する方などを対象として、離島等の現状等を学び・体験するモニターツアーを実施し、離島ならではのワーケーションの魅力を発信していく。						
効果発現年度	■当年度 □後年度(年度)						
実施方法	□直接実施 ■委託 ■補助 □負担 □その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】		R3年度	R2年度(繰越)	R4年度	R4年度(繰越)	R5年度	
	予算 の 状 況	(a) 当初予算額	62,717		85,218		76,178
		(b) 予算現額	62,717		85,218		76,178
		(c) 増減額(b-a)	0		0		0
		(d) 前年度繰越額	0		0		0
		A. 計(b+d)	62,717		85,218		76,178
	B. 執行済額		61,112		79,999		74,773
	うち交付金充当額		48,890		63,999		59,818
	C. 次年度繰越額		0		0		0
	執行率(%) (B/A)		97.4%		93.9%		98.2%
予算の状況の説明		・補助事業での執行残があり、98.2%の執行率となった。					
活動目標 (指標) 及び進捗状況	R5活動目標(指標)		進捗状況				
			R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	
	・ワーケーション実施者や観光関連事業者などから沖縄でのワーケーションを促進する上で必要な情報を収集する。	目標	ニーズ調査の実施	—	—	—	
		実績	ニーズ調査を実施した	—	—	—	
	・沖縄ワーケーションのモデルプランを作成のうえ、情報発信していく。	目標	モデルプランの作成及びプロモーションの実施	—	—	—	
		実績	モデルプランの作成及びプロモーションを実施した	—	—	—	
	・プロモーション実施数	目標	—	4回	4回	4回	
		実績	—	4回	4回	4回	
	情報の一元化(情報の集約・情報発信)	目標	—	—	情報を集約するWEBサイト立ち上げる	webサイトを活用して情報を発信する。	
		実績	—	—	情報を集約したWEBサイト立ち上げた	webサイトを活用して情報を発信した。	
・地域交流型モニターツアーの開催	目標	—	—	5回	5回		
	実績	—	—	5回	5回		
進捗状況説明	・プロモーションについては、県内外の様々なイベントに4回出展した。 ・離島・過疎地域におけるモニターツアーについては、離島・過疎地域で5回開催した。 ・webサイトを活用して、県内のワーケーションに関する情報を発信した。						
成果目標 (指標) 及び達成状況	R5成果目標(指標)		基準値 (〇〇年度)	R3年度	R4年度	R5年度	目標値 (〇〇年度)
	・広告閲覧者における沖縄ワーケーション実施希望割合	目標	—	—	—	—	—
		実績	—	—	—	—	—
	・報告書の作成	目標	—	—	—	—	—
		実績	—	—	—	—	—
	・来県者のうち、ワーケーション目的の割合	目標	—	3.6%	3.6%	3.6%	—
		実績	—	3.6%	1.8%	1.8%	—
	・離島・過疎地域におけるモニターツアー参加者数	目標	—	30人	40人	40人	—
実績		—	38人	40人	41人	—	
達成状況説明	・ワーケーション目的の来県者は、年々増加しているが、それ以上に観光客全体の数が大きく増えたことにより、成果目標である来県者のうちワーケーション目的の割合は、目標に届かなかった。 ・離島・過疎地域におけるモニターツアー参加者数については、目標40人に対し実績41人となり、目標を達成した。						

取組の検証	推進上の留意点 (推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証 (効率の更なる向上の視点)
	<p>・ワーケーションについては、全国的に各自治体においても推進していることから、沖縄の強みを活用したワーケーションを訴求することや戻りつつあるインバウンドへの対応が必要である。</p> <p>・離島・過疎地域におけるモニターツアーについては、地域課題等に触れる地域交流型ワーケーションに一定の需要があることが確認できたことから、他地域への展開を図っていく必要がある。</p>	<p>・ワーケーション目的で来県する人数は、前年度に比べて大きく増加している状況であり、webやメディアでのプロモーションを積極的に展開し、更なるワーケーション需要の喚起を図る。</p> <p>・離島・過疎地域におけるモニターツアーについては、地域交流型ワーケーションの取組モデルとして実施地域を拡大し、横展開を図るとともに、沖縄の離島・過疎地域ならではのワーケーションとして積極的に情報発信を行う。</p>
今後の取り組み方針		
<p>・沖縄におけるワーケーションの普及については、他地域と差別化を図るため、ウェルネスやウェルビーイングなど、沖縄の強みを活かしたプロモーションを実施するほか、企業の課題を把握のうえ、沖縄でのワーケーションを提案するとともに、海外からのインバウンドが戻りつつあるため、沖縄におけるワーケーション情報の集約・発信ができるプラットフォームの多言語化等に取り組む。</p> <p>・対象地域やツアー内容等の見直しを図りながら、離島・過疎地域ならではのワーケーションの魅力向上及び継続的な関わりを持てる環境づくりを行う。</p>		

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)



資金の流れ、費目・評価	点検項目	評価に関する説明
○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者は、公募型プロポーザル方式により、提案内容、実施体制、実績等を提案した上で選定しており、妥当であったと考える。
○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○費目・用途については、事業目的達成の観点から真に必要な費用なのかなど、額の確定時において、支出等に関する書類により確認しており、適切であった。
○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

令和5年度沖縄振興特別推進交付金事業（県分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	154	文化資源を活用した沖縄観光の魅力アップ支援事業	新沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所 (第4章)	3-(2)-ウ-①			
担当部課名	文化観光スポーツ部 文化振興課	事業実施 (予定)年度	H24~R8 年度	沖縄振興基本方針 該当箇所	III-3-(3)		
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> 登録文化団体を活用したツアー組み込み等への斡旋 公演団体への補助による舞台公演の実施 観光施設等と連携した文化体験プログラムの実施 県外プロモーション公演の実施 						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】		R3年度	R3年度(繰越)	R4年度	R4年度(繰越)	R5年度	
	予算 の 状 況	(a) 当初予算額	29,545		29,545		26,050
		(b) 予算現額	61,557		29,545		26,050
		(c) 増減額(b-a)	32,012	0	0	0	0
		(d) 前年度繰越額					
		A. 計(b+d)	61,557	0	29,545	0	26,050
	B. 執行済額		59,724		27,409		25,340
	うち交付金充当額		47,779		21,928		20,272
	C. 次年度繰越額				0	0	0
	執行率(%) (B/A)		97.0%		92.8%		97.3%
予算の状況の説明		<ul style="list-style-type: none"> 予算額は、旅費、委託料、補助金を計上し、文化資源を活用した新たな観光メニューを確立させるため、公益財団法人沖縄県文化振興会への委託及び公益財団法人国立劇場おきなわ運営財団等への補助を実施した。 執行率は97.3%となっており、概ね計画的に執行できた。 					
活動目標 (指標) 及び進捗状況	R5活動目標(指標)		進捗状況				
			R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	
	文化と観光の連携促進のための会議等の実施:1回/年	目標			2回	1回	
		実績			2回	2回	
	舞台公演 2回/年	目標		12回	4回	2回	
		実績		12回	5回	2回	
	文化体験プログラムの実施:10回/年	目標			10回	10回	
		実績			6回	4回	
	県外プロモーション公演の実施:1回/年	目標		1回	1回	1回	
		実績		1回	1回	3回	
進捗状況説明	<ul style="list-style-type: none"> 文化と観光の連携のための会議等の実施、舞台公演及び県外プロモーション公演の実施は、目標値を達成した。 文化体験プログラムの実施は、派遣先と派遣団体の日程調整がつかなかった等により、目標値を下回った。 						
成果目標 (指標) 及び達成状況	R5成果目標(指標)		基準値 (R4年度)	R3年度	R4年度	R5年度	目標値
	①文化と観光の連携促進のための会議等に 参加した旅行業者等の人数:50人	目標	50人	-	50人	50人	50人
		実績	64人	-	64人	87人	-
	②舞台公演入場者における観光客の割合: 16%	目標	15%	17%	15%	16%	16%
		実績	11.3%	9.9%	11.3%	7.9%	-
	③文化体験プログラムに参加した観光客数: 500人	目標	500人	-	500人	500人	500人
		実績	438人	-	438人	1,142人	-
	④県外プロモーション公演の入場率:7割	目標	70%	-	70%	70%	70%
		実績	70.6%	-	70.6%	56%	-
	達成状況説明	<ul style="list-style-type: none"> ①文化と観光の連携促進のための会議等に参加した旅行業者等の人数は、旅行商品発表会等を実施し目標値を達成した。 ②舞台公演入場者における観光客の割合は、観光客へのプロモーション不足等から目標値を下回った。 ③文化体験プログラムに参加した観光客数は、大規模イベントへの出演等により、目標値を達成した。 ④県外プロモーション公演の入場率は、公演数を増やしたこと等により入場率が伸び悩み目標値を下回った。 					

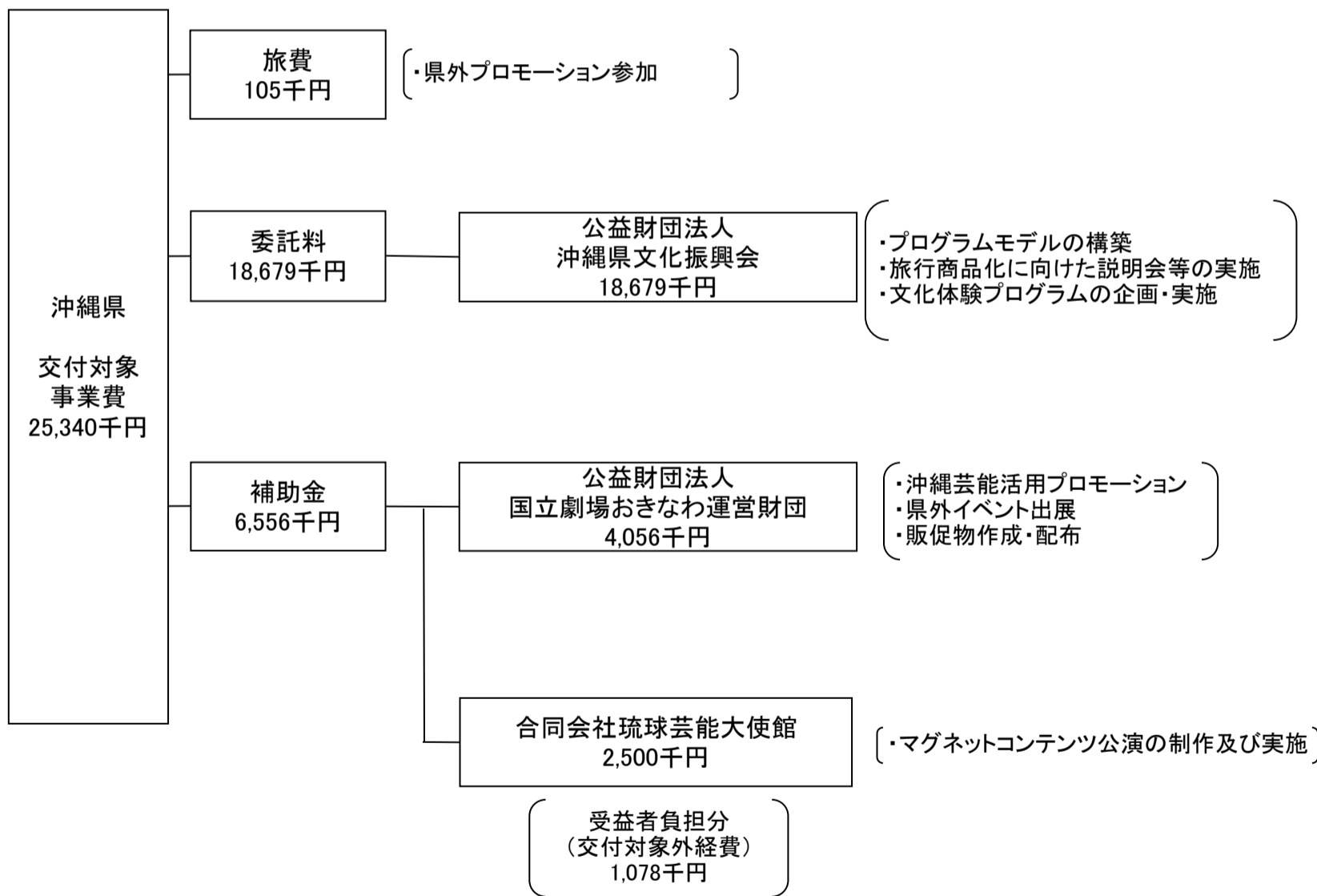
	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	①沖縄特有の文化資源に関する観光客への情報発信が不足している。 ②伝統芸能団体と観光関係事業者との繋がりが弱く、沖縄の伝統芸能のポテンシャルを観光分野に十分活かせていない。 ③伝統芸能コンテンツの旅行商品増加に向け、伝統芸能団体の商品開発能力向上及び営業力強化が求められる。	①観光客への効果的なプロモーションを見直す必要がある。 ②伝統芸能団体と観光関係事業者を繋げる場を設ける必要がある。 ③伝統芸能団体の商品開発能力向上及び営業力強化を図る支援体制が求められる。

今後の取り組み方針

- ①沖縄の伝統芸能・マーケティング分野のアドバイザーの意見を伺う他、効果的なプロモーションを実施できる事業者と連携できるよう、公募以外にも事前調査を行う他、プロモーション期間を十分に設定する。
- ②伝統芸能団体と観光関係事業者の交流の場を設け、沖縄の伝統芸能を観光分野に活かせる体制構築を目指す。
- ③伝統芸能団体向けセミナー等により、の商品開発能力向上及び営業力強化を図る。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	うち交付金充当額	うち県負担金	うち市町村負担金	その他	交付対象外経費
26,418	25,340	20,272	5,068	0	0	1,078



評価	点検項目	評価に関する説明
○	支出先の選定方法は妥当か。	○補助事業者は公募選定方式で団体を選定した
○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○費目・使途については、額の確定時において、事業目的達成の観点から真に必要な経費かどうか、証書類を確認した結果、適正に執行されていた。
○	受益者との負担関係は妥当であるか。	○マグネットコンテンツ公募事業(補助事業)については、補助率を80%として受益者負担分は公演入場料等で確保することとしており、収入が多い場合は、補助額を減額することになるため、負担関係は妥当である。
○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

資金の流れ、費目・使途の点検評価

令和5年度沖縄振興特別推進交付金事業（県分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	134	DX観光客動態調査事業	新沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所 (第4章)	3-(2)-E-③			
				データを活用した戦略的なマーケティングの推進			
担当部課名	文化観光スポーツ部 観光政策課	事業実施 (予定)年度	R4~R13 年度	沖縄振興基本方針 該当箇所	Ⅲ-1-(1)		
事業内容	観光客の行動履歴データ等から属性や季節毎の特性を把握し、ターゲットの細分化を図る						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】	予算の状況	(a) 当初予算額	R3年度	R3年度(繰越)	R4年度	R4年度(繰越)	R5年度
		(b) 予算現額			15,000		14,965
		(c) 増減額(b-a)	0	0	0	0	0
		(d) 前年度繰越額					
		A. 計(b+d)	0	0	15,000	0	14,965
	B. 執行済額				14,998		14,937
	うち交付金充当額				11,999		11,949
	C. 次年度繰越額				0	0	0
	執行率(%) (B/A)				100.0%		99.8%
	予算の状況の説明		執行率はほぼ100%であり、計画的に執行できた。				
活動目標 (指標) 及び進捗状況	R5活動目標(指標)		進捗状況				
			R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	
	観光客の行動履歴データ30,000件	目標			30,000件	30,000件	
		実績			62,626件	165,498件	
	圏域内観光客の平準化	目標			圏域内観光客の平準化		
		実績			圏域内観光客の平準化		
進捗状況説明	・平準化に向けて、観光客の季節ごと、市町村別の訪問状況について調査・分析を行った(取得データ件数:2022年度 62,626件、2023年度 165,498件)						
成果目標 (指標) 及び達成状況	R5成果目標(指標)		基準値 (〇〇年度)	R3年度	R4年度	R5年度	目標値 (〇〇年度)
	ターゲットを絞った誘客プロモーション、観光商品・サービスの開発、観光ツアーの造成	目標			圏域内観光客の平準化	1	
		実績			圏域内観光客の平準化	0	
	沖縄旅行に対する観光客の満足度(国内客「大変満足」67.8%(令和2年度)の向上	目標			観光客満足度の向上		
		実績			国内客満足度の向上		
	達成状況説明	・分析レポートについては、誘客プロモーション等実施機関に共有するとともに、観光客の平準化・分散化を図るため、観光拠点として重要性が高い市町村と調整をおこなったが、具体的な誘客プロモーション、観光商品の開発や観光ツアーの造成までには至らなかった。					

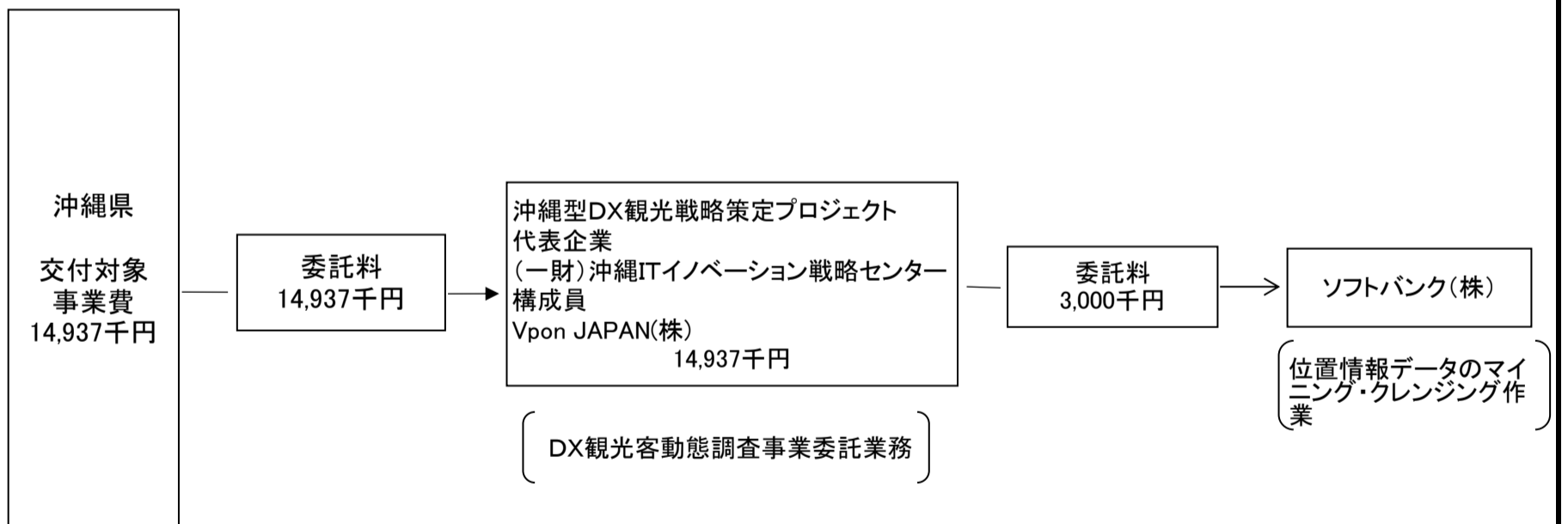
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<p>・ターゲットマーケティングの展開にあたっては、データの収集・分析から戦略の立案、実施までを適切なタイミングで実施していく必要がある。</p>	<p>・調査分析結果の取りまとめを年度末だけではなく、できる限り早期に実施し、関係機関へと共有する必要があるとともに調査対象を外国人観光客まで拡大する。</p>

今後の取り組み方針

・国内観光客だけでなく外国人観光客についても調査を行い、調査分析結果を四半期毎に取りまとめ関係機関に共有することで、属性別季節毎のターゲットマーケティングの展開に繋げていく。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	うち交付金充当額	うち県負担金	うち市町村負担金	その他	交付対象外経費
14,937	14,937	11,949	2,988	0	0	0



資金の流し、費目	評価	点検項目	評価に関する説明
資金の流し、費目	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者は、企画提案プロポーザルにより選定したため、妥当であったと考える。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	○費目・用途については、実績報告書等进行检查し、適正である事を確認した。
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

令和5年度沖縄振興特別推進交付金事業（県分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	136	観光情報基盤構築事業	新沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所 (第4章)	3-(2)-I-④			
担当部課名	文化観光スポーツ部 観光振興課	事業実施 (予定)年度	R4~R8 年度	沖縄振興基本方針 該当箇所	III-1-(1)		
事業内容	MaaS等のICTを活用した新たなサービスの創出を促進するため、公共交通や観光施設等の情報を統一的な基準に基づき整備し、オープンデータとして継続的に利用できる環境を構築する。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】		R3年度	R3年度(繰越)	R4年度	R4年度(繰越)	R5年度	
	予算 の 状 況	(a) 当初予算額			15,750		32,523
		(b) 予算現額			15,750		32,523
		(c) 増減額(b-a)	0	0	0	0	0
		(d) 前年度繰越額			0		
		A. 計(b+d)	0	0	15,750	0	32,523
	B. 執行済額				15,723		32,510
	うち交付金充当額				0		26,008
	C. 次年度繰越額				0	0	0
	執行率(%) (B/A)				99.8%		100.0%
予算の状況の説明		・執行率は約100%であり、計画的に執行できた。					
活動目標 (指標) 及び進捗状況	R5活動目標(指標)	進捗状況					
			R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	
	観光基盤情報の収集整備件数	目標	—	—	200件	200件	
		実績	—	—	382件	208件	
進捗状況説明	・観光基盤情報の収集整備は観光ビーチ情報を収集することで、目標値を達成した。						
成果目標 (指標) 及び達成状況	R5成果目標(指標)		基準値 (〇〇年度)	R3年度	R4年度	R5年度	目標値 (〇〇年度)
		目標	—	—	300件	300件	—
	整備したデータのダウンロード件数	実績	—	—	322件	416件	—
	達成状況説明	・令和5年度に整備した観光基盤情報に係るダウンロード数は、416件となり、目標値を達成した。					

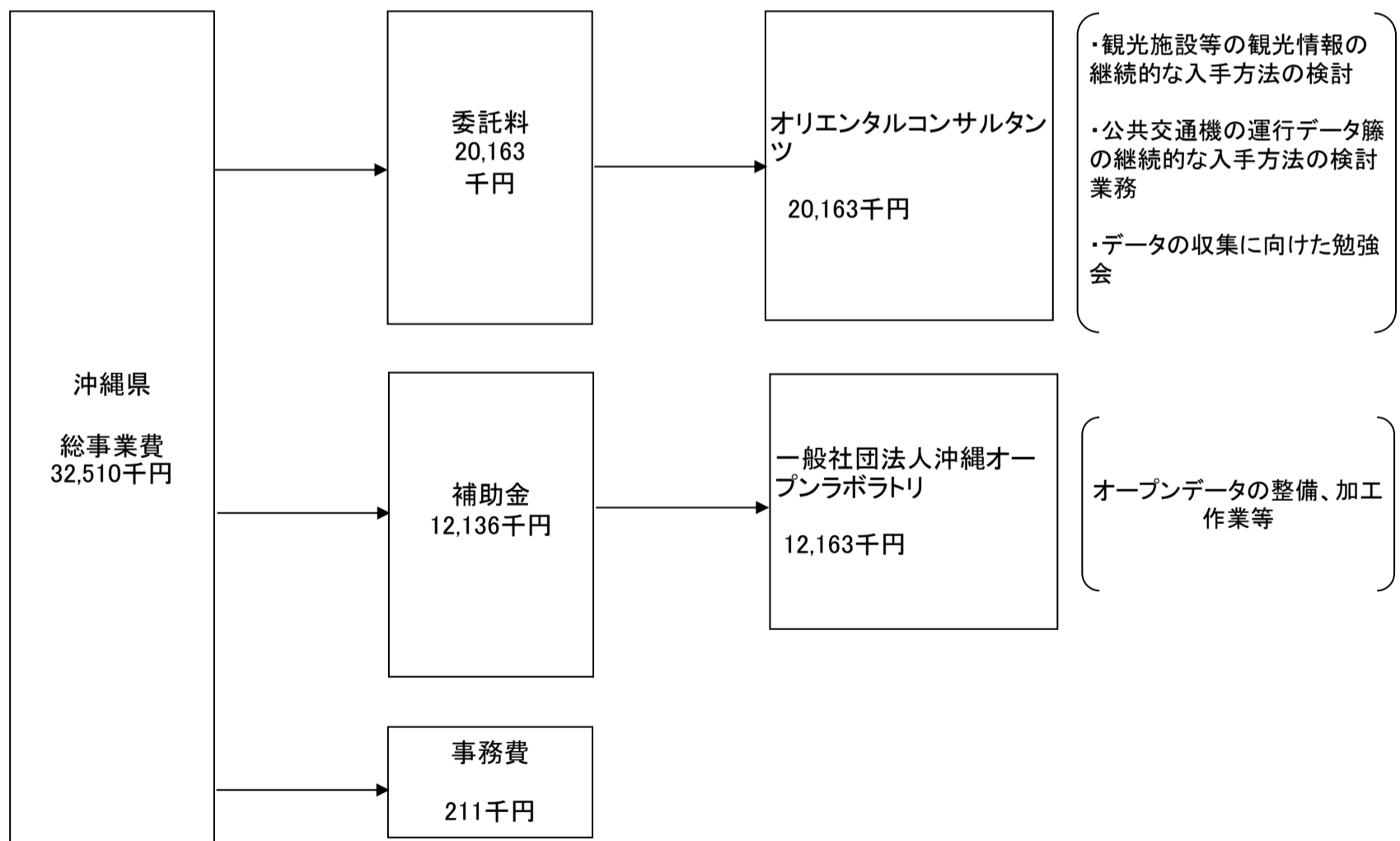
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	アフターコロナや海外からのインバウンドの観光客の増加を踏まえ、オープンデータを活用した更なる観光情報基盤を構築する必要がある。	観光地情報に加えて、那覇空港や交通結節点において、オープンデータを活用した観光2次交通などの観光情報をデジタルサイネージなどで分かりやすく表示できる方法などを検証する必要がある。

今後の取り組み方針

那覇空港等における観光客の移動手段などを分析したうえで、必要とする観光情報の整理やオープンデータを活用した情報発信の方法などの検討・実施に取り組む。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	うち交付金				交付対象外経費
		充当額	県負担金	市町村負担金	その他	
32,510	32,510	26,008	6,502	0	0	0



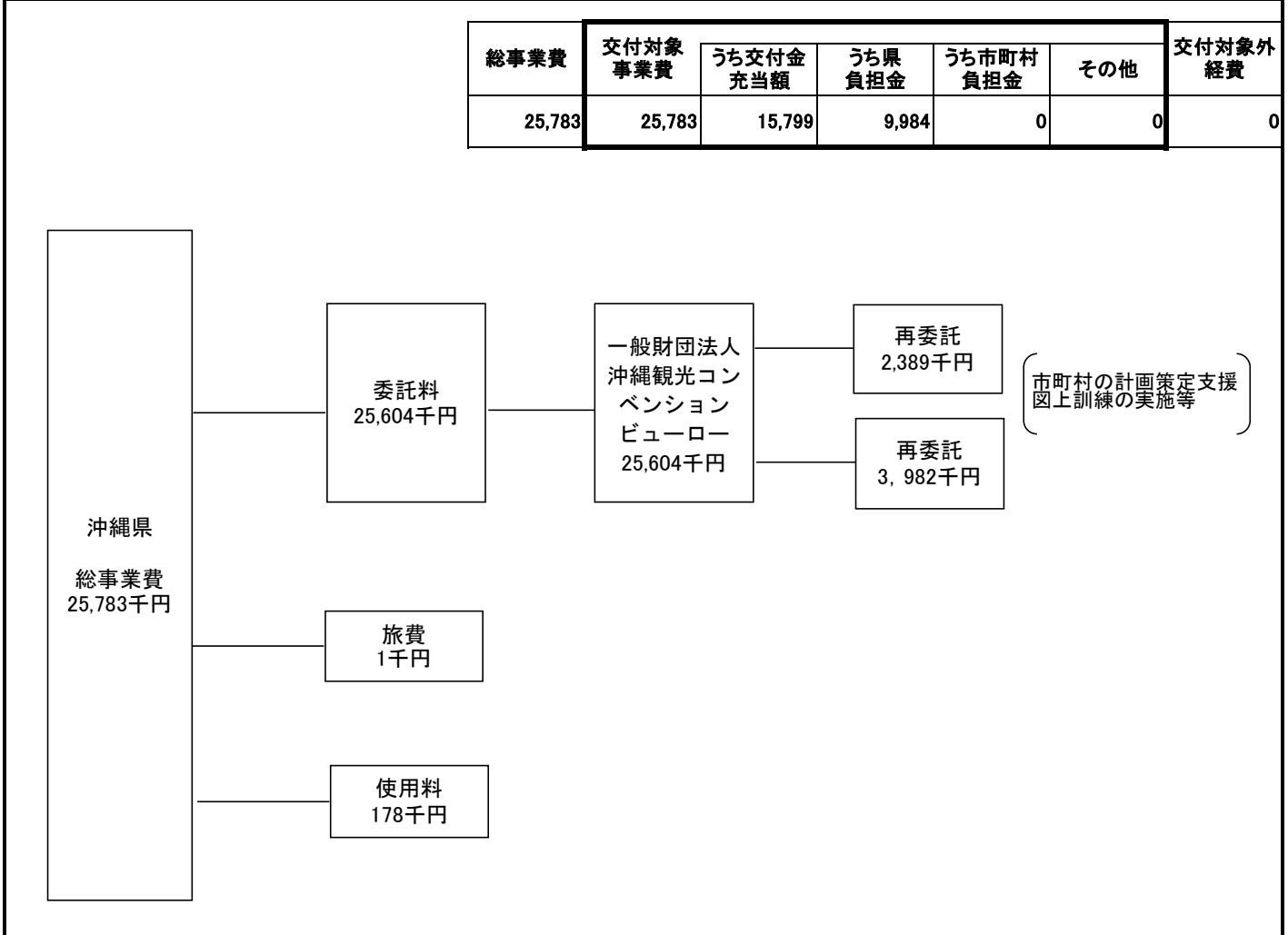
資金の用途の点検・評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者は、企画提案プロポーザルにより、事業の内容によって選定したため、妥当であったと考える。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	○補助事業については、補助率の上限を80%にしており、適正な受益者負担と考える。
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

令和5年度沖縄振興特別推進交付金事業（県分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	138	観光危機管理体制構築支援事業	沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	3-(2)-7-①			
担当部課名	文化観光スポーツ部観光振興課	事業実施(予定)年度	H24 ~ R13 年度	沖縄振興基本方針該当箇所	「安全・安心の島」の構築に向けた受入体制等の整備		
事業内容	観光地としての安全・安心を確保するということ課題に対応するため、国、市町村、OCVB、地域観光協会、観光業界等と連携して観光危機管理に関する先導的な取組を実施する。 具体的には、①観光危機管理意識の醸成、②観光客受入体制強化支援、③観光危機管理訓練の実施、④市町村の観光危機管理計画策定支援、⑤関係機関との連携体制の構築を実施する。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額【単位:千円】		R3年度	R3年度(繰越)	R4年度	R4年度(繰越)	R5年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	76,454		20,590		25,859
		(b) 予算現額	125,582		20,590		25,859
		(c) 増減額(b-a)	49,128	0	0	0	0
		(d) 前年度繰越額					
		A. 計(b+d)	125,582	0	20,590	0	25,859
	B. 執行済額		124,527		20,178		25,783
	うち交付金充当額		99,622		16,142		20,626
	C. 次年度繰越額		0		0	0	0
	執行率(%) (B/A)		99.2%	#DIV/0!	98.0%	#DIV/0!	99.7%
予算の状況の説明		執行率は99.7%であり、概ね計画的に執行できた。					
活動目標(指標)及び進捗状況	R5活動目標(指標)		進捗状況				
			R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	
	①市町村勉強会の開催	目標	/	/	3回	3回	
		実績	/	/	1回	4回	
	②セミナー・シンポジウムの開催	目標	/	実施	2回	2回	
		実績	/	実施した	1回	4回	
	③観光危機管理体制運用図上訓練の開催	目標	/	実施	実施	1回	
		実績	/	実施した	実施した	実施した	
	④観光危機マニュアル・安心安全ガイド等の刷新	目標	/	/	実施	実施	
		実績	/	/	実施した	実施した	
進捗状況説明	①市町村勉強会の開催数について、目標に到達した。 ②セミナー・シンポジウムについて、目標に到達した。 ③観光危機管理体制図上訓練について、令和5年11月14日(火)10:00~17:00まで沖縄空手会館で実施した。 ④観光危機マニュアル・安心安全ガイド等の刷新について、実施した。						
成果目標(指標)及び達成状況	R5成果目標(指標)		基準値(〇〇年度)	R3年度	R4年度	R5年度	目標値(〇〇年度)
	①勉強会参加市町村数	目標	/	/	21件	21件	
		実績	/	/	18件	12件	
	②セミナー参加団体・事業者数	目標	/	/	20	20	
		実績	/	/	2	11	
	③訓練参加団体・事業者数	目標	/	/	20	20	
		実績	/	/	33	34	
	④観光危機管理に対する理解度	目標	/	/	80%	80%	
		実績	/	/	91%	100%	
	達成状況説明	①勉強会参加市町村について、目標に到達することができなかった。 ②セミナー参加団体・事業者数について、前年を上回るものの、目標に到達できなかった。 ③訓練参加団体・事業者数について、前年度を上回るとともに目標を達成することができた。 ④観光危機管理に関する理解度について、目標を超えることができた。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	「沖縄県観光危機管理基本計画」及び「沖縄県観光危機管理実行計画」は、令和3年度に改訂された。	「沖縄県観光危機管理基本計画」及び「沖縄県観光危機管理実施計画」の改訂内容の認知度向上、改訂内容を踏まえた市町村の既存観光危機管理計画の改訂及び新規作成の支援が必要となる。また、市町村支援事業として、北部、中部、南部、宮古、八重山圏域において、説明会を実施する。
今後の取り組み方針		
「沖縄県観光危機管理基本計画」及び「沖縄県観光危機管理実施計画」の改訂についての周知に取り組むとともに、改訂内容を踏まえた市町村の観光危機管理計画の改訂及び新規作成の支援を実施する。		

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)



評価	点検項目	評価に関する説明
資金の流れ、費目・使途の点検評価	○ 支出先の選定方法は妥当か。	○本事業は、市町村、観光関係団体等と連携し官民一体となった観光危機管理体制の構築を図るものである。本事業を執行する上で、市町村や観光関連団体と横断的な連携を円滑に実施することができ、県の観光施策及び全県的な観光に関する情報を十分に把握しており、かつ公的な性質を持つ唯一の団体であるOCVBへの委託は妥当であった。
	○ 予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○事業当初の活動目標及び成果目標を達成しており、適切な予算規模であった。
	○ 受益者との負担関係は妥当であるか。	○費目・使途については委託料の確定時において支出等に関する書類により確認しており、適正であった。
	○ 費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

令和5年度沖縄振興特別推進交付金事業（県分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	143	Be.okinawa Free Wifi推進事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	3-(2)-E-②		
担当部課名	文化観光スポーツ部観光振興課	事業実施(予定)年度	H25 ~ R6 年度	沖縄振興基本方針該当箇所	世界のビジネスパーソン等が訪れるワーケーション拠点の形成 Ⅲ-1-(1)		
事業内容	沖縄観光に適した、新たな通信規格を含めた公衆無線LANのニーズ調査及び普及に向けた検討に取り組む。						
効果発現年度	■当年度 ■後年度(令和4年度以降)						
実施方法	□直接実施 ■委託 □補助 □負担 □その他 ()						
予算額・執行額 【単位:千円】		R3年度	R2年度(繰越)	R4年度	R4年度(繰越)	R5年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額			2,847		25,764
		(b) 予算現額			2,847		25,764
		(c) 増減額(b-a)	0	0	0	0	0
		(d) 前年度繰越額					
	A. 計(b+d)		0	0	2,847	0	25,764
	B. 執行済額				2,694		25,630
	うち交付金充当額				2,155		20,504
	C. 次年度繰越額				0	0	0
	執行率(%) (B/A)				94.6%		99.5%
予算の状況の説明		執行率は99.5%であり、委託料の執行残が生じたことによるものであるが、計画的に実行できた。					
活動目標(指標)及び進捗状況	R5活動目標(指標)		進捗状況				
			R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	
	①アンケート調査	目標	-	-	10,000件	10,000件	
		実績	-	-	227件	706件	
	②Be.Okinawa Free Wi-Fi協議会でのAP・エリア拡大の課題・対策の検討	目標	-	-	4回	検討実施	
		実績	-	-	2回	検討実施	
進捗状況説明	・コロナ前に沖縄県に最も多く訪れている「台湾人」を対象に有用性のアンケート調査を実施。 ・Be.Okinawa Free Wi-Fi協議会については、AP・エリア拡大や、同Wi-Fiの利用者調査等の状況について協議を行い、認証作業簡素化に関する課題や、今後の対策に関する検討を行った。						
成果目標(指標)及び達成状況	R5成果目標(指標)		基準値(〇〇年度)	R3年度	R4年度	R5年度	目標値(R6年度)
	Be.OkinawaFreeWi-Fi認知度向上(日本人・外国人観光客)	目標	-	-	50%	50%	50%
		実績	-	-	36.5%	-	-
	Be.OkinawaFreeWi-Fiスポット数(AP)の増加	目標	-	-	10,000AP	10,000AP	10,000AP
		実績	-	-	3,544AP	3,880AP	-
	達成状況説明	・Be.OkinawaFreeWi-Fiについて、昨年度に比べ、336スポット増加した。 ・認知度向上について、把握することはできなかったが、Be.okinawa Free WiFiを知っている人の利用割合は、約8割にのぼり、認知度をあげることで沖縄観光の利便性を高めることができると考えられる。					

推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)		改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	観光客の利便性向上のため、Wi-Fiスポット数を大幅に増加させる必要がある。	Wi-Fiスポット導入事業者への普及促進活動に加えて、減少幅の要因を明らかにし、増加方法について、検討していく必要がある。
	今後の取り組み方針	
Be.OkinawaFreeWi-Fiの利便性・有用性・性能等に関する実態調査を行うとともに、今後の沖縄県における公衆無線LANのあり方についても、検討を行っていく。		

資金の流れ						
(資金の受け取り先が何をを行っているかについて補足する)(単位:千円)						
総事業費	交付対象事業費	うち交付金充当額	うち県負担金	うち市町村負担金	その他	交付対象外経費
25,630	25,630	20,504	5,126	0	0	0

沖縄県
総事業費
25,630円

(株)イースト、(株)サーベイリサーチ
センター共同企業体

委託料
25,630千円

調査業務
Wi-Fi協議会運営
報告書作成

資金の流 れ、費 目 ・ 評 価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者は公募型プロポーザル方式により企業組織、実績、知識等を勘案した上で選定しており、妥当であったと考える。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

令和5年度沖縄振興特別推進交付金事業（県分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	152	戦略的MICE誘致促進事業		新沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所 (第4章)	3-(2)-オ-①		
担当部課名	文化観光スポーツ部 MICE推進課、 商工労働部 グローバルマーケット戦略課	事業実施 (予定)年度	H24～R8 年度	沖縄振興基本方針 該当箇所	MICE振興とビジネスツーリズム の推進 Ⅲ-1-(1)		
事業内容	沖縄MICE振興戦略に基づき、国内外での誘致・プロモーション活動を強化するとともに、沖縄MICEネットワークなど産学官と連携し、MICEの誘致活動や受入体制の整備、専門人材の育成等に取り組む。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他 ()						
予算額・ 執行額 【単位：千円】		R3年度	R3年度(繰越)	R4年度	R4年度(繰越)	R5年度	
	予算 の 状 況	(a) 当初予算額	273,708		220,559		235,076
		(b) 予算現額	166,989		220,559		235,076
		(c) 増減額(b-a)	▲ 106,719	0	0	0	0
		(d) 前年度繰越額					
		A. 計(b+d)	166,989	0	220,559	0	235,076
	B. 執行済額		162,239		218,271		218,456
	うち交付金充当額		129,791		174,616		161,959
	C. 次年度繰越額				0	0	0
	執行率(%) (B/A)		97.2%		99.0%		92.9%
予算の状況の説明		<ul style="list-style-type: none"> ・令和5年度予算は、主に事業実施に係る委託料の経費を計上したところであり、令和4年度当初予算に比べ14,517千円増額となっているのは、新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴い、リアルでのMICE誘致・開催支援等が増えたことによるものである。 ・執行率は92.9%であり、主に委託料の執行残が発生したことによるものである。 					
活動目標 (指標) 及び進捗状況	R5活動目標(指標)		進捗状況				
			R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	
	国内外の展示商談会での商談件数	目 標	20件	20件	300件	230件	
		実 績	63件	63件	71件	104件	
	開催支援等の実施件数	目 標	249件	302件	355件	80件	
		実 績	8件	20件	79件	53件	
	MICEの受入体制の維持・拡充に向けた人材育成研修の実施(受講者延べ人数) (※令和2年度までは開催支援を活用したMICEへの参加者数)	目 標	90,000人	240人	300人	-	
		実 績	72,505人	120人	183人	-	
	MICE専門家等アドバイザーの派遣件数	目 標	-	-	5件	-	
		実 績	-	-	6件	-	
展示会等個別誘致営業及びプロモーション活動件数	目 標	-	20件	20件	20件		
	実 績	19件	44件	45件	25件		
展示会等への開催支援件数	目 標	-	3件	3件	3件		
	実 績	2件	0件	2件	2件		
展示会等誘致・開催検討会及び人材育成セミナーの実施回数	目 標	-	-	2回	3回		
	実 績	2回	1回	2回	2回		
進捗状況説明	<ul style="list-style-type: none"> ・商談会については、国内外での7つの商談会・見本市に参加した。商談件数は目標値を上回ることができなかった。一方、個別のセミナー商談会については、目標値を大幅に上回ることができた。 ・開催支援については、MICE貸切バス等運行支援、コンベンション開催支援を実施した。MICE開催時の満足度向上を図ると同時に誘致のための重要な支援メニューとなっている。 ・展示会等個別誘致営業及びプロモーション活動件数については、沖縄に親和性のある産業分野へ多角的にアプローチを行った結果、目標の20件を上回る45件の実績となった。 ・展示会等への開催支援件数については、県内で開催する展示会等主催者に対して2件支援を行うことができた。 ・展示会等誘致・開催検討会及び人材育成セミナーの実施回数については、沖縄MICEネットワークを通じた展示会等誘致・開催検討会と併催で2回実施することができた。 						

成果目標 (指標) 及び達成状況	R5成果目標(指標)		基準値 (〇〇年度)	R3年度	R4年度	R5年度	目標値 (〇〇年度)
			県外・海外からのインセンティブ旅行件数	目標		—	1,100件
	実績			148件	580件	993件	
	国内・国際会議開催件数 ※ICCA(国際会議協会)基準及びJCCB(日本 コンGRESS・コンベンション・ビューロー)調査 に基づくもの	目標		—	200件	56件	
		実績		4件 ※JCCB分はコロナ で未調査	31件	35件	
	MICEネットワークの強化:会員数	目標		200団体	160団体	160団体	
		実績		221団体	215団体	208団体	
	有望展示会等の誘致	目標		—	3件	3件	
		実績		2件	0件	2件	
	展示会等の開催件数	目標		—	80件	80件	
		実績		38件	91件	183件	
達成状況説明	<p>・令和5年度は、前年度からの直行便就航再開により回復を見せ始めた韓国、台湾を中心にインセンティブ案件が増加した。香港、中国においては直行便は再開したものの、MICE案件の動きはまだ兆しが乏しい一方、シンガポールが令和5年度から、タイが令和6年度4月から直行便が再開となり、東南アジア市場への期待が見え始めた。</p> <p>・沖縄MICEネットワークでは、既存会員の維持と新規会員獲得を図るため、イベント時のパンフレット配布(200部)、機関紙発行(2回)、メールニュース配信(27回)、コンベンションカレンダー掲載(247件)等を行った。</p> <p>・令和5年度の有望案件の誘致については、沖縄県での開催に前向きな主催者に対し、キーパーソンの紹介を行うなど、開催に向けた調整等を継続的に実施し、目標には届かなかったが2件の誘致を行った。</p>						

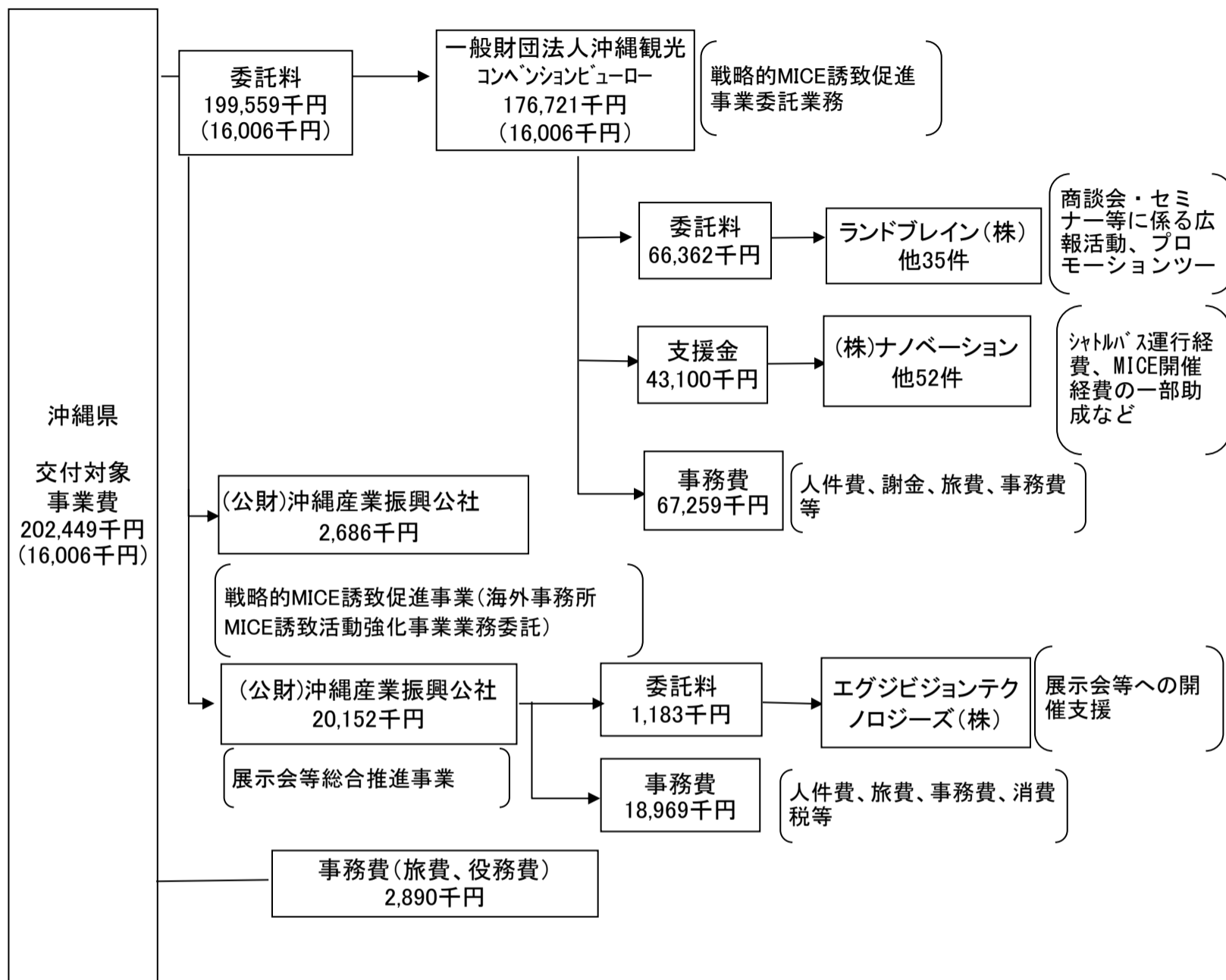
R5-No.152

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
		<p>・MICEの海外市場が回復している中で、MICE開催地に選ばれるためには東南アジアと類似のイメージを持たれる沖縄ならではの魅力の訴求が必要となっている。</p> <p>・教育旅行シーズンにおいて貸切バスの確保が困難となる事例が増加傾向にあり、コンベンション開催における満足度低下が懸念される。</p>
今後の取り組み方針		
<p>・沖縄のコンテンツをコーディネートして手配できるランドオペレーターやDMCとの連携を図るとともに、オンラインでのウェビナーを活用し、商談会に参加できなかった県内事業者の機会創出を図る。また、大都市以外でも大型案件が実施されるようになっているため、大都市以外の地域への営業活動も強化する。</p> <p>・バス事業者、関係機関と意見交換を行い、オフシーズンへの誘導等について検討する。</p>		

資金の流れ

(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	うち交付金 充当額	うち県 負担金	うち市町村 負担金	その他	交付対象外 経費
218,455	202,449	161,959	40,490	0	0	16,006



資金の 使途の 流れ、 費目 点検 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○本事業はMICE関連事業者等と連携を図り官民一体となってMICEの誘致・促進を行うものであるため、公的性質を持ち、かつ、県のMICE関連施策及び全県的なMICEに関する情報を十分に把握している唯一の団体であるOCVBへの委託は妥当であった。 ○費目・使途については委託料の検査時において支出等に関する書類により確認しており、適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	